

平成 29 年度
年 次 報 告 書

公益財団法人 ヤマト福祉財団

目 次

1. 平成 29 年度事業報告書	1
平成 29 年度中に実施した助成事業	
Ⅰ. 障がい者に対する奨学金の支給	
Ⅱ. ジャンプアップ助成金	
Ⅲ. ステップアップ助成金	
Ⅳ. 障がい者福祉助成金	
平成 29 年度 障がい者の働く場パワーアップフォーラム実施報告	
平成 29 年度「夢へのかけ橋 実践塾」実施報告	
5 万円必達塾、亀井塾 2 期、熊田塾 1 期、新堂塾 3 期、楠元塾 2 期活動報告	
卒業者へのサポート	
全 A ネットへの助成について	
ネパール小児白内障治療プロジェクトの報告	
自然栽培パーティ第 2 回全国フォーラム	
『障がい者のクロネコ DM 便配達事業』進捗状況	
『障がい者のクロネコ DM 便配達事業』参入施設一覧	
2017 年度「障がい者のクロネコ DM 便配達実績」時系列集計表	
2. 平成 29 年度収支決算報告書	59
賃借対照表	
正味財産増減計算書	
正味財産増減計算書内訳表	
財務諸表に対する注記	
財産目録	
附属明細書	
平成 29 年度事業報告 附属明細書	
収支決算書	
勘定明細表	
監査報告書	
3. 財団主催の諸会議	77
4. 平成 29 年度寄付金寄贈者名簿	78
賛助会員数一覧	
5. 役員名簿	79
6. 平成 30 年度事業計画書	83
同 収支予算書	85
資金調達及び設備投資の見込みについて	87

1. 平成 29 年度事業報告書

平成29年度事業報告書

(自・平成29年4月1日 ～ 至・平成30年3月31日)

■ 庶務事項

(1) 財団設立年月日 平成5年9月10日

(2) 基本財産

投資有価証券

ヤマトホールディングス株式会社(株式)

3,554,500株 9,485,183,250円

(3) 役員等

①理事長 1名

②理事 8名

③監事 2名

④評議員 8名

⑤福祉助成金選考委員 5名

⑥ヤマト福祉財団小倉昌男賞選考委員 5名

(4) 賛助会員

個人会員 70,813人

(5) 事務局

①常務理事 1名

②事務局長 1名

③職員 2名

■ はじめに

「経済的自立力を備えた新しい福祉」を掲げた「障がい者の働く場パワーアップフォーラム」は、講座や事例報告、シンポジウムを交えて大阪、東京、金沢、福岡の4ヵ所で開催しました。また、今期で5年目に入った「夢へのかけ橋」実践塾は、食品製造販売塾・農福連携塾・5万円必達塾・封入・封緘サービス塾に加えて弁当・配食サービス塾が新たに2期生を迎えたため、5塾35名が障がい者の経済的自立力向上のため実践を行いました。

栽培指導者を派遣して無農薬・無肥料の自然栽培の検証プロジェクトは、「一般社団法人農福連携自然栽培パーティ全国協議会」発足2年となり、3月末現在、104ヵ所の福祉施設や販売店が加入しています。

また、ヤマト運輸(株)の協力を得て実施している「障がい者のクロネコDM便配達事業」は、全国320事業所で1,680名が従事し、社会福祉法人ヤマト自立センターは、平成30年3月までに事業開始累計161名の一般就労実績となっています。

(公1)助成事業

①奨学金

平成29年3月1日から4月14日まで応募書類請求期間、同年4月24日から5月19日を申請期間とし70名の応募がありました。選考委員会で12名を選考追加して、40名の奨学生に奨学金を提供しています。前年につづいて本年も体幹機能障がいがありながら医師を目指していた奨学生が見事国家試験に合格し、平成30年4月より医師となることが決まっています。また、大学にてバイアスロン競技に励んでいた奨学生が韓国で開催された平昌冬季パラリンピックに出場するという夢を実現しています。

②助成金

今年度も、昨年に引き続き助成金事業を障がい者の給料増額を目的とする「障がい者給料増額助成金」と一般的な福祉助成金の2つに分け、「障がい者給料増額助成金」の中に、ジャンプアップ助成金（定額500万円）・ステップアップ助成金（上限200万円）の2種の助成金を設定しました。

平成28年10月1日から11月30日までを公募期間として、232件の応募があり、平成29年3月23日に選考委員会を実施、同年4月から6月にかけて支部毎にヤマト運輸（株）の協力を得ながら贈呈式を行いました。

助 成 部 門	応募	決定	決定金額
①ジャンプアップ助成金（定額500万円）	41件	7件	35,000千円
②ステップアップ助成金（上限200万円）	79件	13件	23,700千円
小 計	120件	20件	58,700千円
③福祉助成金（会議・出版・文化・スポーツ）	112件	7件	4,490千円
合 計	232件	27件	63,190千円

（公2）研修・育成事業

①セミナー事業「障がい者の働く場パワーアップフォーラム」

対象者を施設職員から障がい者の働く場に関心のある方とし、日帰り形式の研修を実施しました。全国4ヵ所で685名が参加し、これまでのセミナー受講者と合わせ累計10,282名となりました。

開催地	会場	開催日	参加人数
前年までの累計			9,597
大阪	マイドームおおさか	7月 7日	182
東京	全社協・灘尾ホール	7月21日	190
金沢	金沢流通会館	8月25日	144
福岡	エルガーラホール	9月 1日	169
合 計			685
本年累計			10,282

②雇用・促進事業

「障がい者のクロネコDM便配達事業」は、全国320事業所で1,680人の障がい者が配達を行っています。また、社会福祉法人ヤマト自立センターのスワン工舎新座・スワン工舎羽田クロノゲートの就労移行支援事業では、今期17名累計161名が一般就労しました。平成23年に立ち上げた就業・生活支援事業では今期は58名の登録者に対して就労支援・就労先での定着支援・金銭管理や一人暮らしなどの生活支援を行い、実習63名、就業者51名の実績をあげました。また、就労につながった方々との結びつきを図るため第9回スワン工舎卒業者の集いを開催しました。

③育成プロジェクト

小倉昌男賞受賞者によるプロジェクトとして平成25年より始まった受賞者リーダープロジェクト「夢へのかけ橋実践塾」は、本年度武田 元氏（第3回受賞者）亀井 勝氏（第7回受賞者）熊田芳江氏（第14回受賞者）を塾長とする3つの塾が9月末に2年間の研修期間を満了し18名の修了者を送り出しました。また、楠元洋子氏（第13回受賞者）を塾長とした弁当・配食サービス塾が新たに2期生9名を迎えています。新堂 薫氏（第9回受賞者）を塾長とする封入封緘塾8名と合わせ3月末現在17名が在籍して半年に一度の間隔で実践塾を開催し、PDCAサイクルを回しています。また、塾生が申請して活用する事業改革モデル化資金については、塾長による書類審査を経て決裁し、事業改革モデルづくりを行っています。また、佐伯康人氏（第15回受賞者）を指導者に迎えた水稻自然栽培検証プロジェクトは、5月19日・5月20日に福島県郡山市で第2回自然栽培パーティ全国フォーラムを開催、3月末現在104施設が会員登録しています。

(公3) 表彰事業

障がい者の経済的な自立やノーマライゼーションに貢献した個人を表彰するため、本年もヤマト福祉財団小倉昌男賞の贈呈事業を行いました。7月1日から9月15日まで公募を行い、10月11日の選考委員会で、奈良県奈良市の山内民興氏と京都市伏見区の松浦一樹氏に受賞が決定しました。また、贈呈式は12月6日に一般社団法人日本工業倶楽部にて、各界の方々やヤマトグループ役員、ヤマトグループ企業労働組合連合会役員をお迎えし開催いたしました。

(公4) 広報・啓発等事業

① 広報事業

財団ニュースを第54号から第57号まで年4回発行し「コラボメール便」としてヤマトグループ健康保険組合と共同で社員自宅まで配布しました。また、一般購読希望者829名と福祉施設作業所4,412カ所に無料配布を行いました。助成先や奨学生のレポートに加えて、パワーアップフォーラム、ヤマト福祉財団小倉昌男賞など財団主催の行事、実践塾やクロネコDM便配達の報告を行っています。

② 事業モデル別実践事例サイトの運用

小倉昌男賞や助成金の事例、実践塾の成果を資料化して福祉施設の経営者が施設の利用者増や工賃向上に役立つビジネスモデルを参照できる「経済的自立力達成事業所紹介サイト 夢へのかけ橋」をインターネット上に公開しています。このサイトでは、障害基礎年金と合わせて、年収112万円の貧困線を超えることのできる工賃3万円を超えた事業所を経済的自立力達成事業所として紹介しています。

③ 啓発事業

障がい者本人によるクロネコDM便特別報告会を北海道帯広市の1カ所にて地元でお世話になっている方々を招待し、ミニ報告会を開催しました。

④ その他

- ・全Aネットの就労継続支援A型事業所実態調査を助成し、全国のA型事業所の実態を明らかにしました。この調査結果は、全Aネットのホームページで開示され、啓発活動や政策提言に役立っています。
- ・ヤマト福祉財団が支援していた無認可小規模作業所の記録や障がい者運動や文化に功績のあった方々が創作・収集した資料を収蔵する「きょうされん障害者アーカイブセンター」の収蔵用什器・備品および収蔵資料検索システムの整備に助成しました。
- ・第17回ヤマト福祉財団小倉昌男賞受賞者竹内昌彦氏が立ち上げたヒカリカナタ基金と共同でネパールにて行う小児白内障患者の治療事業について、現地視察ならびに現地カウンターパートとの実施契約を行い、現地での事業実施の準備を整えました。
- ・パラリンピック開催への協力として、自然栽培パーティが主催した「アスリートの夕べ」の開催に協力し、障がいのある人たちが生産した農作物がパラリンピックの食材として提供されるという夢の実現を会場でアピールしました。

(公5) 復興・再生支援事業

今期は該当事業はありません。

■ 賛助会員の状況

当財団の母体であるヤマトホールディングス（株）とそのグループ会社で組織する賛助会員数は70,813人となっています。

平成29年度中に実施した助成事業

I. 障がい者に対する奨学金の支給

■ 障がい者大学生 40名

	大学名	学 年	氏 名
1	富山大学	6年生	高井 凜
2	恵泉女学園大学	4年生	荻野 彩音
3	弘前大学	4年生	成田 佳樹
4	龍谷大学	4年生	名取 絵里
5	立命館アジア太平洋大学	4年生	川口 真実
6	久留米大学	4年生	藤崎 大暉
7	国際基督教大学	4年生	糸野 海生
8	日本社会事業大学	4年生	櫻井 未来
9	ルーテル学院大学	4年生	中村ひとみ
10	花園大学	4年生	宇津木三徳
11	関西福祉大学	4年生	藤原 一成
12	大阪教育大学	4年生	山森 一希
13	専修大学	4年生	吉田 伸吾
14	大東文化大学	4年生	阿部有里香
15	長崎大学	4年生	鬼丸 禎史
16	慶応義塾大学	3年生	後藤 佑季
17	筑波技術大学	3年生	東丸 円香
18	日本社会事業大学	3年生	阿部 里南
19	筑波技術大学	3年生	青山 舜
20	東洋大学	3年生	山崎 雄世

	大学名	学 年	氏 名
21	城西国際大学	3年生	藤田 裕大
22	東京大学	3年生	植田 健人
23	立教大学	3年生	網本万里奈
24	国際基督教大学	3年生	大下 歩
25	慶応義塾大学	2年生	池田ブライアン雅貴
26	京都大学	2年生	油田 優衣
27	九州大学	2年生	坂井 法仁
28	聖隷クリストファー大学	2年生	長谷 果林
29	大東文化大学	2年生	八尾 陽夏
30	北海道教育大学	2年生	碓井 琴音
31	筑波大学	2年生	高橋利恵子
32	芝浦工業大学	2年生	スーゾーシャン
33	東京工科大学	2年生	河内 勇樹
34	宮城大学	1年生	幸谷 圭都
35	石巻専修大学	1年生	渡邊 文華
36	東京大学	1年生	杉本 優太
37	兵庫県立大学	1年生	永瀬 紗織
38	県立広島大学	1年生	多留 陽葉
39	島根大学	1年生	松崎 桃佳
40	九州保健福祉大学	1年生	佐々木淳也

Ⅱ. ジャンプアップ助成金

助成先

助成対象事業の内容および助成額

1

北海道札幌市
東区

ひかり工房

◇就労継続A・B型・
就労移行



- 石窯オープン、コンベクションオープンの購入資金
- 助成金 5,000,000円

ひかり工房は主に精神障がい者の所得と雇用の向上を掲げて2003年よりパンの製造販売で成果を上げてきました。2014年度にはA型事業開始で定員も15名まで増員。しかし2016年度は売上が前年度割れに。この助成を活用して石窯オープン、コンベクションオープンを購入し、パンの付加価値を高めて復調とさらなる飛躍を図る体制を整えることができました。

2

北海道有珠郡
壮瞥町

合同会社
農場たつかーむ

◇就労継続A・B型・
就労移行



- 養鶏場のハウス鶏舎整備資金
- 助成金 5,000,000円

北海道で自然養鶏を営む農場たつかーむ。加工やカフェ運営など6次産業化を進めつつ、A型で月給約10万円を達成しています。助成により新型鶏舎ハウス2棟を建設しました。従来の4面開放型鶏舎より季節ごとの室温管理が容易で高産卵率、雛低死亡率の施設です。老朽鶏舎との置き換えにより需要の高い平飼いの有精卵を増産し、利用者の給料増額につなげていきます。

3

青森県十和田市

カシスのしずく

◇就労継続B型



- ニンニク用植付機・仕上機・乾燥機・茎切機の
購入資金
- 助成金 5,000,000円

ニンニク生産量日本一である十和田市の土壌を活用するため、2014年に事業の主軸を果樹栽培からニンニク栽培に転換。作付面積を当初の0.4haから2017年度には2haまで拡大しました。助成で購入したニンニク用の機器類でこれまでの手作業から大幅な機械化に踏み切ることができ、それにより従来からの課題だった品質の安定化も図ることができました。

4

岐阜県郡上市

ぶなの木学園
共働社

◇就労継続B型



- 食品加工用の低温減圧乾燥機の購入資金
- 助成金 5,000,000円

ぶなの木学園共働社の看板商品は「郡上の干し芋」。減圧平衡発熱乾燥法で仕上げた、しっとりした風味が人気です。しかし乾燥機が1台のためイモや野菜の乾燥作業に遅滞が生じていました。今回の助成により新乾燥機を導入することができて大量の野菜類を処理することが可能となるとともに、より廃棄野菜が減少し、利用者の勤労意欲増大と収入増に結び付けました。

5

和歌山県有田郡
有田川町

早月農園

◇就労継続B型



- 運搬用モノレールの修復と
ジャム製造機の購入資金
- 助成金 5,000,000円

和歌山県有田川町の山間部で既存の1.5倍にあたる2万㎡以上の耕作放棄地を新規に借り入れ、果樹園経営を拡大。助成金の活用により極度に劣化した運搬用モノレールの修復、レール・支柱の取替え等を行い大幅な収益アップが見込めます。さらに、ジャム・マーマレード製造機器の導入により安定した品質での大量生産による収益も確保できることとなりました。

6

鳥取県西伯郡
大山町

ストーク作業所

◇就労継続A・B型



- トマト用ハウス増設（1棟）と
ケチャップ加工機材の購入資金
- 助成金 5,000,000円

ストーク作業所では野菜の生産販売と豆腐やジャムの加工食品製造を行ってきましたが、事業収益の増加が見込めないことから従来生産量の少なかった「樹熟（じゅじゅく）トマトのケチャップ」の本格生産に着手することに。増産に必要なハウスと灌水設備、加工用のフードカッターなどを助成で整備しました。好評なこのケチャップを主軸に収益の増加を目指します。

7

熊本県阿蘇郡
小国町就労支援センター
陽なたぼっこ◇就労継続A・B型・
就労移行

- 調理場施設の拡張増築資金
- 助成金 5,000,000円

2014年からA型事業を開始。未経験ながら2016年には高齢者向け配食サービスが1日200食を超え、ニーズに応えるための対応が必要でした。助成を調理配膳室の拡張やガスフライヤー、立体炊飯器等の購入に充て、1日300食の配食が可能となりました。新しい作業所と設備により将来は1日400食まで伸ばし、月額8万円以上の給料を目指します。

Ⅲ. ステップアップ助成金

助成先

01

北海道岩見沢市

きっちんどう

- 食器洗浄機、スチームコンベクションオーブン、冷凍庫の購入および設置資金
- 助成金
2,000,000円



02

北海道空知郡南富良野

障がい福祉サービス事業所
なんぷ〜香房

- 看板および電光掲示板、全自動エスプレッソマシン、ピザ焼成機の購入資金
- 助成金
2,000,000円



助成先

03

宮城県遠田郡涌谷町

共生の森

- 枝豆脱莢機、選別機械の購入資金
- 助成金
1,960,000円



04

群馬県前橋市

菜の花

- 水田除草機および色彩選別機購入資金
- 助成金
2,000,000円



助成先

05

兵庫県神戸市北区

上野丘更生寮

- 玄米低温貯蔵庫購入資金
- 助成金
1,100,000円



06

兵庫県姫路市

障がい者支援センター
出愛いの里

- 封緘機および結束機導入資金
- 助成金
1,500,000円



助成対象事業の
内容および助成額

助成対象事業の
内容および助成額

助成対象事業の
内容および助成額

助成先

助成対象事業の内容および助成額

07

奈良県奈良市

SCファームぶろぼの

- 障がい者が指導するプログラミング教室開設のための整備資金
- 助成金
780,000円



08

和歌山県田辺市

はまゆう作業所

- 切り干し大根乾燥用アルミ温室の設置およびアングル棚設置資金
- 助成金
1,100,000円



助成先

助成対象事業の内容および助成額

09

和歌山県田辺市

ふたば第二作業所

- 製パン用機器の購入資金
- 助成金
2,000,000円



10

広島県尾道市

就労支援センターあおざり

- カフェ開設にともなう備品購入資金
- 助成金
2,000,000円



助成先

助成対象事業の内容および助成額

11

徳島県徳島市

障害者支援センターきのこハウス

- さつま芋を蒸す機械(スチーマー・ボイラー)の購入資金
- 助成金
2,000,000円



12

福岡県福岡市西区

多機能型事業所
とわ・え・もあ

- 食品乾燥機・周辺作業設備等の購入と取り付け工事資金
- 助成金
2,000,000円



助成先

助成対象事業の内容および助成額

13

鹿児島県薩摩川内市

おじゃったモールさつま川内館

- きんかんソフトクリーム製造機購入および販売所工事資金
- 助成金
2,000,000円



IV. 障がい者福祉助成金

助成先

01

北海道旭川市

北海道
重症心身障害児（者）を守る会

- 療育キャンプ
- 助成金
600,000円



02

宮城県仙台市青葉区

NPO法人
みやぎ発達障害サポートネット

- 発達障害連続研修会
～本人の自立と歩みよりの地域社会を目指して～
- 助成金
800,000円



助成先

03

宮城県黒川郡大和町

吉岡宿にしびりかの
映画祭実行委員会

- 吉岡宿にしびりかの映画祭
2017
- 助成金
500,000円



04

東京都新宿区

一般社団法人
全日本難聴者・中途失聴者団体連合会

- 難聴者・中途失聴者団体を
対象にした災害時・緊急時
対応に関するマニュアル開
発および啓発事業
- 助成金
270,000円



助成先

05

大阪府東大阪市

社会福祉法人ひびき福祉会

- DVD製作・冊子発行
- 助成金
1,000,000円



06

兵庫県宝塚市

特定非営利活動法人
ぽっかぽかランナース

- いろいろな障がいを
理解するぽっかぽか講
習会開催
- 助成金
320,000円



助成先

07

熊本県山鹿市

アール・ブリュット（生の芸術）
パートナーズ熊本

- 生の芸術ArtBrut展覧
会・アール・ブリュット
移動美術館
- 助成金
1,000,000円



助成対象事業の
内容および助成額

助成対象事業の
内容および助成額

助成対象事業の
内容および助成額

助成対象事業の
内容および助成額

平成29年度 障がい者の働く場 パワーアップフォーラム実施報告

》》 2. プログラム内容

大阪会場

7月7日(金) マイドームおおさか

**「食」で広がる
障がいのある人の働く場**

プログラム		
10:00		主催者あいさつ
10:05	講演1	時流講座 障害のある人をめぐる 関連動向とディーセントワーク NPO法人日本障害者協議会代表 きょうされん専務理事 藤井 克徳
10:50	講演2	お弁当・高齢者向け 配食サービスに夢を託して (社福)キャンパスの会 理事長 楠元 洋子
11:30	出店紹介	出店事業所紹介 進行：(社福)ひびき福祉会 理事長 亀井 勝
12:00		大試食会(75分)
13:15	事例報告 (各30分)	障がいのある人の 働く場として高評価したい 食品加工や食事提供の場づくり 事例報告1・2・3 出店事業所から選出します
14:45		休憩
15:00	ビデオ上映	働き甲斐のある仕事と暮らし 毎年恒例の実践レポートビデオ。 ヤマト福祉財団で制作している 最新ビデオを上映します。
15:15	当事者の声	厨房や接客で働く 本人からのメッセージ
15:30	シンポジウム	「食」で広がる 障がいのある人の働く場 障がいのある人のためにどのよ うな環境や仕事が必要とされて いるのでしょうか。「食」の場に期待 されることを会場のみなさんと ともに考えます。 コーディネーター：藤井 克徳 登壇者：出店事業所から選出し ます。
17:00	終了	

東京会場

7月21日(金) 全社協・灘尾ホール

重い障がいのある人の仕事づくり

プログラム		
10:00		主催者あいさつ
10:05	講演1	時流講座 障害のある人をめぐる 関連動向とディーセントワーク NPO法人日本障害者協議会代表 きょうされん専務理事 藤井 克徳
10:50	講演2	「重い障がいのある人の 働き甲斐をつくる」 宮城県柴田郡 (社福)はらから福祉会 理事長 武田 元
11:35	講演3	「ソフトウェア会社で 働き甲斐を創る」 大阪府大阪市 (有)奥進システム 代表取締役 奥脇 学
12:20		休憩(55分)
13:15	講演4	「重度の障害のある人から 働く場の保障を」 埼玉県川越市 (社福)皆の郷 川越いもの子作業所 所長 大畠 宗宏
14:00	講演5	「重い障がいのある人とともに おそうざいをつくる」 愛知県名古屋市中区 (社福)さくらんぼの会 おそうざいのさくらんぼ 係長 倉品 みや子
14:45		休憩
15:00	ビデオ上映	働き甲斐のある仕事と暮らし 毎年恒例の実践レポートビデオ。 ヤマト福祉財団で制作している 最新ビデオを上映します。
15:15	当事者の声	働く本人からのメッセージ
15:30	シンポジウム	社会と価値を 共有できる働く場づくり 「経済的自立力」と重い障がい のある人の仕事づくりは、どのよ うに実現し折り合うことができる のか、講演者が会場のみなさん とともに考えます。 コーディネーター：藤井 克徳 登壇者：講演者4名
17:00	終了	

金沢会場

8月25日(金) 金沢流通会館

**農業と福祉の連携に取り組む
障がい者の働く場**

プログラム		
10:00		オリエンテーション
10:05	講演1	クロネコヤマトの満足創造経営 ～お客様の声は「宝の山」～ (公財)ヤマト福祉財団 理事長 瀬戸 薫
10:50	講演2	時流講座 障害のある人をめぐる 関連動向とディーセントワーク NPO法人日本障害者協議会代表 きょうされん専務理事 藤井 克徳
11:35	講演3	果樹園再生と産直市場 (スーパーマーケット経営)で 地域とつながる 福井県あわら市 NPO法人ピアファーム 理事長 林 博文
12:20		休憩(55分)
13:15	講演4 (各30分)	リーダー実践報告 農業と福祉の連携 実践報告1 熊田 芳江 (社福)こころん 常務理事 (福島県泉崎村) 実践報告2 新井 利昌 埼玉福興(株) 代表取締役 (埼玉県熊谷市) 実践報告3 佐伯 康人 (株)パーソナルアシスタント青空 代表取締役(愛媛県松山市)
14:45		休憩
15:00	ビデオ上映	働き甲斐のある仕事と暮らし 毎年恒例の実践レポートビデオ。 ヤマト福祉財団で制作している 最新ビデオを上映します。
15:15	当事者の声	農福連携事業所で 働く本人からのメッセージ
15:30	シンポジウム	高付加価値で障がいのある人の 働く場づくりを 事業所が高品質な作物を生み出 すために、どのような工夫をした のか。 障がいのある人と農業の将来に ついて理解を深めます。 コーディネーター：藤井 克徳 登壇者：講師、事例報告者3名
17:00	終了	

*一部、無音DVDが使用されるため、視覚障がい者
向けに構内FM放送をいたします。必要な方はFM
ラジオをご持参ください。

》》 1. 実施体制

より幅広い参加者を迎え、各地の実践報告を行う場としてのパワーアップフォーラム。「経済的自立力を備えた新しい福祉を目指して」をテーマに、2017年度は全国4ヵ所で開催しました。

各会場ごとにテーマを設定。大阪会場では『「食」で広がる障がいのある人の働く場』をテーマに、初の試みとして大試食会を開催しました。また、福岡会場では、これも初の試みとして2日間開催。初日はヤマト福祉財団主催で「就労継続支援A型事業所の未来」、翌日には全Aネット主催の『「はたらくNIPPON!計画」A型フォーラムin福岡』を開催しました。

福岡会場

9月1日(金) エルガーラホール 8F

全Aネット主催 福岡会場

9月2日(土) エルガーラホール 7F

就労継続支援A型事業所の未来

「はたらくNIPPON!計画」A型フォーラムin福岡

プログラム		
10:00		主催者あいさつ
10:05	講演1	時流講座 障害のある人をめぐる 関連動向とディーセントワーク NPO法人日本障害者協議会代表 きょうさるん専務理事 藤井 克徳
10:50	講演2	一般就労が難しい障害者に対して A型事業所が果たす役割 「中間的就労分野における基本的課題と A型事業の可能性検討事業」研究会委員 岩田 克彦
11:35	講演3	行政説明 就労継続支援A型における 適正な運営に向けた指定基準の 見直し等について 厚生労働省社会・援護局 障害保健福祉部障害福祉課 就労支援係長 服部 剛
12:30		休憩(45分)
13:15	講演4 (各30分)	リーダー事例報告 九州・沖縄の好事例から学ぶ 就労継続支援A型事業所経営 事例報告1 井上 靖 (株)ばいおにあ 未来サポートステーション 統括施設長(北九州市) 事例報告2 山田 健二 (社福)東康会 就労継続支援A型事業 ねんりん 施設長(熊本県) 事例報告3 玉城 卓 (合)ソルファコミュニティ 代表(沖縄県)
14:45	ご案内	「はたらくNIPPON!計画」 ～「就労支援フォーラム」 日本財団 竹村 利道
15:00		休憩
15:15	当事者の声	A型事業所で 働く本人からのメッセージ
15:30	シンポジウム (75分)	就労継続支援A型事業所の未来 登壇者：研究会委員・事例報告者3名 コーディネータ：藤井 克徳
16:45	ご案内	全Aネットのめざすもの 全Aネット理事長 久保寺 一男
17:00	終了	

プログラム		
10:00	分科会1	テーマ：ネットワークの必要性とメリット ファシリテータ 中嶋 真道 就労継続支援A型B型監 (有限会社 Takaコーポレーション) 就労支援部部長(久留米市) ファシリテータ 本村 達弥 就労支援センター ワンピース (NPO法人まちくらネットワーク熊本) 管理者(荒尾市) ファシリテータ 牧本 真宏 ひまわりらんど(株式会社まきもと) 代表取締役(福岡市) コーディネータ 金納 健次郎 エンラボ カレッジ(株式会社エンラボ) 代表取締役(宮崎市)
10:00	分科会2	テーマ：生産性を高めるポイントと企業との結びつき ファシリテータ 後藤 修一 社会福祉法人鶴の会 きのごセンター翼 職業指導員(豊前市) ファシリテータ 稲葉 大輔 社会福祉法人鶴の会 きのごセンター翼 生活支援員(豊前市) ファシリテータ 島野 廣紀 Be Happy(一般社団法人 社会福祉支援協会) 代表理事(福岡市) ファシリテータ 外元 淳子 オードリー(特定非営利活動法人ステップアップステーション) 理事長(佐世保市) コーディネータ 萩原 義文 全Aネット理事(岡山県A型協議会代表)
10:00	分科会3	テーマ：A型事業所の利用者サービスの質を高めるために ファシリテータ 羽矢 一弘 社会福祉法人 新友会 ひまわり畑 施設長(大分市) ファシリテータ 野田 久仁子 源喜(特定非営利活動法人ドッグセラピージャパン) 理事長(北九州市) ファシリテータ 東金城 彰一 合同会社りゅうか 就労サポート真風 サービス管理責任者(宜野湾市) コーディネータ 井上 靖 株式会社ばいおにあ(未来サポートステーション) 統括施設長(福岡A型事業所協議会会長)
12:00		休憩(60分)～間仕切りを撤去
13:00	全体 ミーティング	1. 分科会報告 2. 全体ディスカッション テーマ：A型事業所に求められるコンプライアンス テーマ：九州地区の情報共有ネットワークを 構築するためには、どうしたらいいか？ パネリスト ①分科会1のコーディネータ(金納 健次郎) ②分科会2のコーディネータ(萩原 義文) ③分科会3のコーディネータ(井上 靖) コーディネータ 久保寺 一男(全Aネット理事長)
15:00	終了	

大阪会場

7月7日(金) 》》マйдーム大阪

「食」で広がる障がいのある人の働く場

大阪会場では初の試みとして、大試食会を開催しました。食品関係で事業展開する16施設が、自慢の商品を出店。用意した商品が足りなくなるほどの大盛況となりました。第13回小倉昌男賞受賞の楠元洋子氏の講演、出店者から三人の事例報告を行いました。



東京会場

7月21日(金) 》》全社協・灘尾ホール

重い障がいのある人の仕事づくり

「重い障がいのある人の仕事づくり」をサブテーマに5名の方が講演を行いました。その中のお一人である第17回小倉昌男賞受賞の奥脇学氏は、「働きやすい環境を整えるのは、経営者の務め。企業も福祉も同じです」と話しています。



金沢会場

8月25日(金) 》》金沢流通会館

農業と福祉の連携に取り組む障がい者の働く場

新幹線が通り、パワーアップフォーラムでは初めての金沢での開催となりました。「農業と福祉の連携に取り組む障がい者の働く場」というテーマで、第16回小倉昌男賞受賞の林博文氏の講演をはじめ、農福連携のリーダーたちが実践報告を行いました。



福岡会場

9月1日(金) 》》エルガーラホール

就労継続支援A型事業所の未来

全Aネット主催

9月2日(土) 》》エルガーラホール

「はたらくNIPPON!計画」A型フォーラムin福岡

福岡会場のテーマは「就労支援A型事業所の未来」とし、マスコミでも取り上げられた恵しきA型事業所についての解説や、実際に頑張っておられるA型事業所の事例報告など盛りだくさんのプログラムとなりました。初の試みとして翌日には全Aネット主催のフォーラムが開催され、三つの分科会で意見交換が行われました。



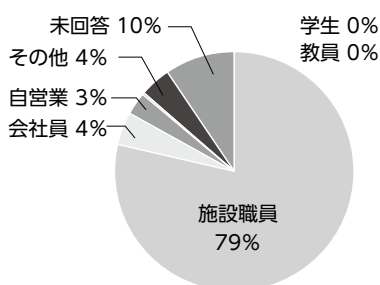
》》 3. 実施日・場所・人数

開催日	開催地	会 場	参加人数
7 月 7 日	大阪	マイドームおおさか	182 名
7 月 21 日	東京	全社協・灘尾ホール	190 名
8 月 25 日	金沢	金沢流通会館	144 名
9 月 1 日	福岡	エルガーラホール	169 名
合 計			685 名

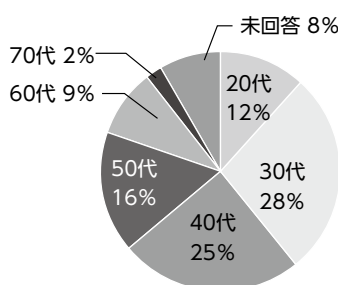
》》 4. 平成29年度 障がい者の働く場パワーアップフォーラム 参加者の傾向

※アンケート回答者 384 名

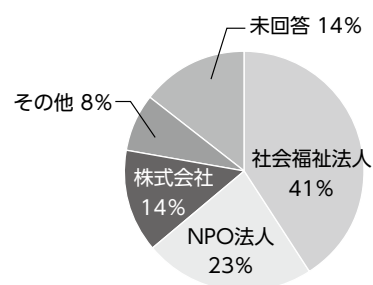
職業



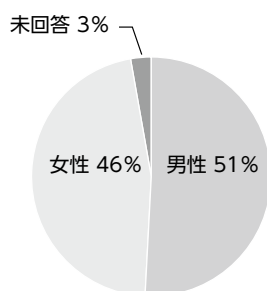
年齢



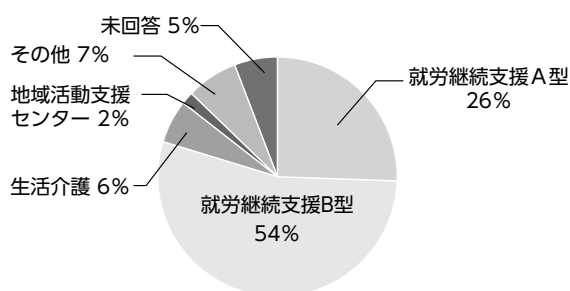
所属



性別

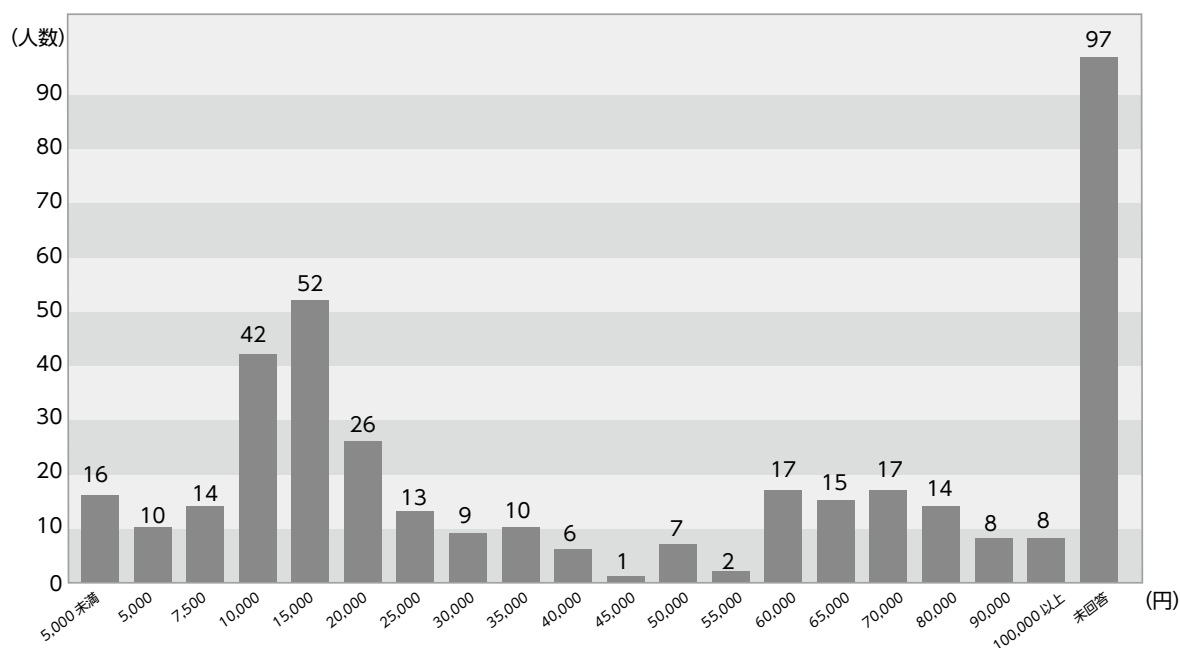


事業区分



参加施設の平均給料の分布

※アンケート回答者 384 名 ※未回答：97 名



平成29年度「夢へのかけ橋 実践塾」実施報告

》》 1. 夢へのかけ橋 実践塾とは

「夢へのかけ橋 実践塾」は、夢へのかけ橋プロジェクトのテーマ“経済的自立力を備えた新しい福祉”に向かって行動を起こす施設を塾生とし、利用者さんの給料増額という目的を達成するための研修会です。平成29年度は、5つの塾で35名の塾生が「1年後3万円、2年後5万円」の給料増額を目指し、事業改革に取り組みました

武田塾長による「5万円必達塾」の5塾生、「亀井塾（第2期）」の4塾生、「熊田塾」の9塾生は、2年間（平成27年9月～平成29年9月）の全活動を終了しました。「新堂塾（第3期）」の8塾生は、平成28年9月～平成30年9月の2年間の活動に取り組んでいます。平成28年パワーアップフォーラムで募集した9塾生が学ぶ「楠元塾（第2期）」は、平成29年9月～平成31年9月の2年間で活動します。

塾生には、クラウドサービスによる「収支管理システム」を提供しています。塾生はこのシステムを活用し、毎日・月ごとの売上を把握。新たな目標の設定や改善策の検討・実行などに役立てています。また、塾生が起こす事業をモデル化して水平展開するための資金（「夢へのかけ橋」事業改革モデル化資金※）を用意。この資金は、塾生が立てた事業プランから、効果が高いと認められるものに対し、新規事業を起こすため、事業改革を進めるために必要な道具や働く環境を整え、実行結果を塾で検証するものです。

なお実践塾修了後も、利用者さんの給料増額を進めるために卒業者主体で勉強会などを開催しています。

※平成29年度は、多機能型事業所あけぼの作業所にレトルト窯、缶巻締め機の増設費用として224万円を助成しました。

》》 2. 研修内容

各塾は独自に研修会、見学会、勉強会、塾長による塾生施設の視察などを開催し、塾生一人ひとりの抱える問題を具体的に解決できるように取り組みました。また複数の塾が一つの会場で合同研修会を開くことにより、互いに情報交換を行う機会も提供し、給料増額の目標達成につながる効果を狙いました。

- ・ 販路拡大や商品開発など営業に関する新規事業や改善について事業プランを作成。
- ・ 2年間を通じて合同研修をはじめ、塾ごとに研修会や勉強会を開催し、自分の目標の進捗や他参加者の進捗などを確認。
- ・ 先行している施設より現場の課題などを説明。
- ・ グループディスカッション・合同パネルディスカッションなども取り入れる。
- ・ 2年間、PDCAサイクル手法を実行して成果を出す。

》》 3. 夢へのかけ橋 実践塾 全体のスケジュール

5万円必達塾	亀井塾 (第2期)	熊田塾	新堂塾 (第3期)	楠元塾 (第2期)
● 第5回5万円必達塾 はらから福祉会 (平成29年6月9・10日)	● 第6回亀井塾 かしのみNEO (平成29年6月23・24日)	● 第6回熊田塾 こころん (平成29年5月20・21日) ● 塾長視察 宮共生会 ショップ& カフェみつば (平成29年8月31日)	● 見学・勉強会 あいらぶ工房 (平成29年6月6日)	
合同研修会 (平成29年9月8・9日) ● 第6回5万円必達塾 / 修了式 ● 第7回亀井塾 / 修了式 ● 第7回熊田塾 / 修了式 ● 第4回新堂塾 / 中間報告 ● 第1回楠元塾 / 弁当・配食サービス実践塾開講式				
..... ■ 卒業者へのサポート <楠元塾> 第1回楠の会 晴海グランドホテル (平成29年9月9日) <新堂塾> 第3回フォローアップ研修 ワークセンターフレンズ星崎 (平成29年10月27・28日) <亀井塾> 第3回お菓子分科会 ハイワークひびき (平成30年2月24日) <熊田塾> 熊田塾特別研修会 八身福祉会・全国車いす駅伝競走大会 (ノウフク朝市) (平成30年3月10・11日) 			● 第2回楠元塾 キャンパスの会 (平成29年11月9・10日)	● 第3回楠元塾 あすなろ亭 (平成30年2月16・17日)
			● 第5回新堂塾 エール (平成30年3月2・3日)	

5万円 必達塾

夢へのかけ橋実践塾修了者から「2年間で必ず5万円の給料を実現する」と決意した5施設が、実践塾で学んだ経験を活かし、自ら課題を持って参加しています。「もっと仕事がしたい、給料を上げてほしいと思っても、利用者さんは口に出しません。声なき思いに応え、最後までやり通すことが職員の使命」と塾生を指導する武田塾長です。



●塾長：(社福) はらから福祉会 理事長 武田 元氏

○略歴

1966年より宮城県公立学校教員として31年間勤務。1979年に「はらから会」を立ち上げる。2004～2010年度まできょうされん宮城支部長。2010年9月～2013年3月『障がい者の暮らし変革塾（第1期武田塾）』塾長。2013年9月～2015年9月『夢へのかけ橋実践塾 武田塾（第2期）』塾長。2015年10月～2017年9月『5万円必達塾』塾長。第3回ヤマト福祉財団賞受賞（2002年度）。

塾長の 名言

「ゴールを見失うと日常の取り組みも揺らぐ」

「我々が目指すゴールは、年金と合わせて月約14・15万円の収入で、障がいの程度や種別に関係なく当たり前の暮らしを行えるようにすること。それが揺らぐと日常の取り組みも揺らいでいます。自分たちが今どの段階にいるのかを確認し進んでください」

5万円必達塾：5施設（平成27年10月スタート時）

【法人名】	【事業所名】	【事業所形態】	【事業内容（要旨）】	【取り組みたい事業（要旨）】
(社福) はらから福祉会	はたまき・手づくりの里	就労継続B型	和菓子の製造・販売	自主製品と仕入れ商品の販売強化（移動販売、ネット販売、ふるさと納税のお礼品）など
(NPO) 吉野コスモス会	ういる工房	就労継続B型	冷凍寿司・惣菜の製造・販売、野菜加工	生産性の向上、取引先拡大、おせちなどの宅配先・販売先の開拓など
(NPO) コンパスの会	コンパス	就労継続B型	パンの製造・販売	パン製造力、販売力の強化など
(社福) ゆずりは会	ゆずりは	就労継続B型	農業、農作物の受託作業（タマネギの皮むき）、ウォーターサーバーメンテナンス	農地の拡大などで農業を柱にする
(NPO) かしのみ	就労支援事業所 かしのみラボ	就労継続B型	ドライフルーツの製造・販売	委託・受託事業の拡大、自主製品の開発など

5万円必達塾活動報告

》》 第5回研修会

● 日時：平成29年6月9・10日

● 場所：(社福)はらから福祉会(宮城県柴田郡柴田町)

第5回研修会は、武田塾長の施設・(社福)はらから福祉会で開催。おからかりんとうやパン、レトルト食品などの製造を行う各事業所を見学し、各施設長から日々の取り組みなどを聞きました。「利用者さんの自立のために売上を伸ばし、目標とする給料を支払うことが私たちの使命です。だからこそ、生産した商品は確実に売り切らなければなりません。売れ残れば飛び込み販売でもなんでもやります」「販売機会を増やすために、イベントも自ら企画し、職員全体で目標達成に臨んでいます」。すべてが順風と思われていた塾長施設でも多くの課題を抱え、懸命に取り組んでいる姿を塾生たちは知りました。



翌日も塾長施設で、ポークジャーキー、豚串などの製造を行う事業所を見学。「取引先の信頼を失わないように衛生管理を徹底し、安全・安心の生産体制を保ちながら新商品の開発に取り組んでいます」との話に、塾生は自施設の衛生管理のあり方を改めて見直すことに。武田塾長の「何のため、だれのために自分たちは働いているのかを心に刻み、残り3ヵ月も頑張り抜いてほしい」との激励を受け、塾生たちはラストスパートをかけていきました。



■ 第5回研修会の内容

日程	プログラム
6月9日	■ みずきの里丸森、くりえいと柴田、らぼるの森見学 ■ はらから福祉会にて報告会
6月10日	■ みお七ヶ浜見学 ■ 今後の取り組みを話し合い



》》 合同研修会・修了式

● 日 時：平成29年9月8・9日

● 場 所：晴海グランドホテル・晴海パークビル(東京都中央区)

9月8・9日、5万円必達塾の5塾生は、他の2塾とともに2年間の研修成果の報告を行いました。平均月額給料5万円のハードルは高く、全員が目標達成とはいきませんでした。未達成者も5万円以上支給できた月があり、それぞれに手応えをつかんでいます。塾生たちは、2年間を振り返りながら、今後の改善点と卒業後も給料増額に挑み続けることを報告しました。

「時給を一律450円まで上げることができましたが、目標は500円です。そのために新商品開発や地域企業・団体との連携を強めます」「パン製造の仕込み方法を変えて大量に製造できるようになりました。今後は販売方法を改善しあきらめず目標達成に向かいます」「豆腐とおからクッキーの2本柱の商品で取引先を増やすことを目標達成への一歩とします」「農作業の効率を上げる機械を導入しました。今後は1年を通して利用者さんが作業できる作物、売上が伸びる作物に絞り込みます」「山梨の旬の果物でより魅力的なドライフルーツや新商品をつくりたい。ブドウ園もはじめて体制も整っています」。

武田塾長は「給料は高いほど良いですが、現実の壁は想像以上に高く厚い。思うように結果が出ずに跳ね返されることもあるでしょう。しかし、そこで悩み苦しむ期間は、大きな目標達成に必要な期間でもあるのです。なぜ私たちは働くのか、その答えは障がいがある、なしに関係ありません。原点を確認しながら、これからも前に進んでください」と話しました。翌日の分科会でも「これで修了ではなく、新たなスタート」と全員で意志を確認し、今後の健闘を誓い合いました。



■ 合同研修会・修了式の内容

日 程	プログラム			
9月8日	■ 瀬戸理事長挨拶			
	■ 5万円必達塾・亀井塾・熊田塾成果報告（各塾長より講評） ■ 新堂塾中間報告（新堂塾長より講評） ■ 実践塾卒業生代表より発表（2名）			
	■ 表彰式			
9月9日	■ 4塾長・菅野教授講評			■ 第2期楠元塾 第1回研修会
	■ 5万円必達塾分科会	■ 亀井塾分科会	■ 熊田塾分科会	
			■ 新堂塾分科会	

※P23亀井塾、P27熊田塾、P32新堂塾、P35楠元塾の合同研修会の内容は上記のとおり

「最も相談の電話をかけてきた塾生が小俣さん。第2期武田塾から計4年間、よく頑張りました」と評価しました。平成25年に第2期武田塾に入った時は利用者さん4名に月額平均給料10,584円でしたが、平成28年度は14名に34,611円と大きく数字も変化しています。「塾長に学んだのは、実行することの大切さ。迷ったらやる、できない無理だと思わずにまっすぐやってみること。でも一人でできることは限られてきます。今後は職員を育て、仲間を増やし、人脈をつくることで目標を達成し、賞に恥じない頑張りを続けます」。



■ 5万円必達塾各塾生の2年間の変化

単位：円（売上金額、平均給料） 単位：人（支払人数）

		平成27年7月	平成27年9月	平成27年12月	平成28年3月	平成28年7月	平成28年9月	平成28年12月	平成29年3月	平成29年7月
みずきの里丸森	売上金額	3,216,096	2,963,786	3,560,939	2,948,206	3,215,989	2,781,505	3,574,767	5,535,067	4,051,269
	支払人数	35	37	36	36	36	36	34	35	40
	平均給料 (一人当たり)	34,963	32,668	61,787	35,485	35,128	34,050	51,743	73,658	33,071
	全日程給料	58,765	58,743	51,111	58,778	55,611	55,611	50,882	58,321	54,600
	時 給	511	511	511	511	506	506	509	507	520
ういる工房	売上金額	1,446,544	1,424,427	5,600,490	1,102,149	1,206,437	1,216,413	6,313,866	1,415,500	1,094,607
	支払人数	23	19	27	30	32	31	29	29	34
	平均給料 (一人当たり)	24,854	24,306	24,132	23,708	19,796	17,457	19,253	30,941	19,243
	全日程給料	43,857	38,475	47,785	45,713	39,797	39,774	40,500	46,575	40,500
	時 給	443	450	503	447	442	442	450	450	450
コンパス	売上金額	963,675	719,035	732,884	953,012	876,480	730,287	666,711	893,341	952,488
	支払人数	15	15	14	14	14	14	14	14	14
	平均給料 (一人当たり)	31,000	25,000	19,000	26,000	27,000	24,000	15,000	27,225	19,000
	全日程給料	31,000	25,000	19,000	26,000	32,400	24,000	15,077	29,000	19,005
	時 給					270	192	163	242	181
ゆずりは	売上金額	4,946,837	1,101,536	1,212,019	940,733	4,869,657	1,957,431	1,133,690	2,371,873	4,646,556
	支払人数	27	27	25	24	26	24	24	26	23
	平均給料 (一人当たり)	40,000	39,531	39,258	60,000	45,000	44,289	44,965	45,086	45,309
	全日程給料	40,000	39,531	39,258	60,000	45,000	47,885	48,521	46,819	50,000
	時 給					372	396	401	354	395
かしのみ	売上金額	681,910	453,145	1,020,766	515,658	911,934	1,370,388	1,045,958	901,710	1,631,947
	支払人数	13	13	14	13	14	15	13	12	14
	平均給料 (一人当たり)	34,038	33,133	38,852	33,262	35,348	34,637	32,119	39,689	28,159
	全日程給料	45,616	38,738	49,593	52,225	50,714	48,540	46,354	55,660	47,707
	時 給	415	408	496	475	507	485	464	506	477

※全日程給料…平均時給×所定作業時間数

亀井塾 (第2期)



「“賃金規定に則り、決められた金額の給料を支払える施設へ”。そのためには原価から収入・支出、利益計算までをきちんと行い、数値目標を決定すべき」と塾長の（社福）ひびき福祉会の亀井理事長。塾生は、マーケティングをベースに接客・集客活動と連動した販路拡大や顧客開拓、商品開発の具体的な計画・実践を目指しています。

●塾長：（社福）ひびき福祉会 理事長 亀井 勝氏

○略歴

1977年ひびき共同作業所を開設。1984年に社会福祉法人の認可を得て常任理事、施設長へ。大阪府社会福祉協議会セルフ部会部会長、ハイ・ワークひびき施設長、全国社会福祉協議会全国社会就労センター事業推進委員長などを務め、定年退職後は全役職を辞任し（社福）ひびき福祉会理事長に。2013年9月～2015年9月『夢へのかけ橋実践塾 亀井塾（第1期）』塾長。2015年10月～2017年9月『亀井塾（第2期）』塾長。第7回ヤマト福祉財団小倉昌男賞受賞（2006年度）。

塾長の 名言

「売れるものづくりは、職員のスキルアップから」

「売れるお菓子をつくりたい、給料を上げたいと言いますが、なにをつくるにも設備は必要だし、まずは職員がスキルを身に付けなければならない。お菓子づくりの技術、利益を出せる原価率を計算できる能力。口だけではなく利用者さんのために実行してほしい」。

亀井塾：4施設（平成27年10月スタート時）

【法人名】	【事業所名】	【事業所形態】	【事業内容（要旨）】	【取り組みたい事業（要旨）】
（社福）こころの窓	青い鳥	就労継続B型・生活介護	製菓事業・給食業務・下請け作業	製菓事業
（NPO）ヒールアップハウス	晴れ晴れ	就労継続B型	製パン・製菓事業・クラフト事業・クロネコDM便・ポストインク事業	焼き菓子の種類増加・ギフト商品お土産品の販売
（社福）いたるセンター	あけぼの作業所	就労継続B型・生活介護・就労移行	食品加工・公園清掃・受注作業・石けん・手芸品	食品加工事業
（NPO）かしのみ	就労支援事業所 かしのみ Neo	就労継続B型	下請け・ドライフルーツの加工	果物の加工・菓子製造

亀井塾活動報告

》》 第6回研修会

- 日 時：平成29年6月23・24日
- 場 所：(NPO)かしのみ・かしのみNeo(山梨県甲府市)

第6回亀井塾は、山梨県でクラッシュゼリーなど果物の加工販売を行う(NPO)かしのみの事業所 かしのみNeoで開催し、新事業のブドウ園も見学しました。ブドウ園で収穫したブドウの1/4はドライフルーツに加工する計画です。「利用者さんの給料増額に失敗を恐れず挑戦したい」と話す施設長の言葉に、亀井塾長は「トップが先陣を切って動く施設は必ず伸びます」と評価しました。

翌日は、塾生がクッキーや缶詰の生産設備の増強、新商品の開発計画などを発表しました。「ベーゴマクッキーの評価が高まり、百貨店から声がかかったのに生産が追いつかず、せっかくのチャンスを逃してしまいました。商品に自信を持ち、卸先の拡大など販売のあり方を見直します」。「製缶事業が160缶から240缶に伸びましたが、配食事業と共同で釜を使っているため、生産が追いつきません。設備も人員も体制を見直して残り3ヵ月で少しでも成果を上げたい」と意欲をみせています。亀井塾長は「材料の値段を把握し、目標の売上と利益をしっかりと確保できる販売計画を立ててほしい。経費計算をしっかりと行い、PDCAで全職員が数字を確認し、必ず達成する覚悟を持ってください」と激励しました。



■ 第6回研修会の内容

日 程	プログラム
6月23日	■ かしのみ見学 ■ 塾長視察の感想／塾長講話
6月24日	■ 今期事業計画発表／まとめ ■ 塾長考察



》》 合同研修会・修了式

※概要・プログラムはP20を参照ください。

- 日 時：平成29年9月8・9日
- 場 所：晴海グランドホテル・晴海パークビル(東京都中央区)

9月8・9日の合同修了式で、亀井塾生4名は、他の2塾とともに2年間の成果報告を行いました。思うように売上・給料を伸ばせずに悩んだ塾生たちですが、看板となる商品開発や改善への取り組みは進んでいます。

「冷凍庫を変えて在庫もたくさん持てるようになりました。塾長に指導いただいたリンゴのコンポートと、クラッシュゼリーの新商品を武器に、1桁の取引先を2桁にします」「原価計算の方法だけでなく、真意も理解できました。狭い作業スペースですが、美味しいだけではなく、量産もでき利益を上げることができるお菓子づくりに取り組んでいます」「ベーゴマクッキーをはじめ多くの方に評価される商品ラインアップになってきました。



利用者さん主体で生産できる体制づくりを進め、職員は販売先開拓に力を入れ売上増を目指します」「レトルト釜などを新たに購入でき、原価率も徐々に改善できています。職員の意識も変わってきて、これからが勝負です」とそれぞれの抱負を語りました。

亀井塾長は「いま大切なのは、仲間を、職員を育てること。一緒に踏ん張れるパートナーを一人でも増やしてください。今後、目標達成へ継続的に改善を進めていくために最も必要な条件です」と講評しました。翌日の分科会でも「お菓子づくりのプロを雇いましょう。信頼できる一人のプロの存在が、周りの職員のスキルも意識も変えていきます。これから問われるのは、みなさんの指導力です。やってできないことなんてない。まだこれからです」と応援の言葉をかけました。塾生たちも「塾で得たものを活かして必ず結果を出し、もう一度再会しよう」と意欲を高め合いました。

塾長賞
受賞者

(NPO)ヒールアップハウス『晴れ晴れ』
製パン・製菓事業など

石崎 美智さん

塾生みんなの頑張りをずっと見てきたので、一人だけではなく全員に賞をあげたいのが本音と亀井塾長。「石崎さんは、厳しい状況の中で、新商品の販路拡大などでしっかり成果を出しました。今後もその努力を続けてください」と評価しました。「2年間かけてやっと給料を増額できる基盤がつくれたと思います。これから大切なのは、営業力の強化です。日頃から職員に数字を意識してもらえるように、エクセルシートなどを使って情報の共有を進めながら、みんなで力を合わせて事業所をより良く変えていきたいと思います」。



■ 亀井塾各塾生の2年間の変化

単位：円（売上金額、平均給料） 単位：人（支払人数）

		平成27年7月	平成27年9月	平成27年12月	平成28年3月	平成28年7月	平成28年9月	平成28年12月	平成29年3月	平成29年7月
青い鳥	売上金額	185,380	144,000	297,110	278,388	350,306	330,770	277,328	344,870	177,420
	支払人数	7	7	6	7	7	7	7	7	6
	平均給料 (一人当たり)	12,257	13,214	26,283	13,868	18,900	19,671	43,557	18,314	20,717
晴れ晴れ	売上金額	635,328	588,100	1,016,346	2,069,427	863,420	725,399	1,363,442	1,274,827	908,461
	支払人数	35	36	34	37	16	16	16	15	14
	平均給料 (一人当たり)	8,716	12,680	15,579	15,453	25,196	25,195	33,071	33,080	30,768
あけぼの作業所	売上金額	610,741	512,905	592,792	735,765	775,520	684,802	825,836	829,248	844,330
	支払人数	14	14	14	14	14	13	15	14	15
	平均給料 (一人当たり)	10,405	9,126	11,090	12,290	15,328	13,286	17,553	18,637	20,171
就労支援事業所 かしのみ	売上金額	170,611	347,161	359,739	305,295	305,331	517,465	170,190	190,072	526,111
	支払人数	11	11	16	16	16	16	7	8	11
	平均給料 (一人当たり)	12,187	11,893	18,579	16,443	14,675	14,830	17,212	18,120	12,200

》》 「夢へのかけ橋」事業改革モデル化資金

「夢へのかけ橋」事業改革モデル化資金は、塾生が起こす事業をモデル化し水平展開するためのものです。この資金は、塾生が立てた事業プランから効果が高いと認められるものに対し、新規事業を起こすため、また事業改革を進めるために必要な道具や働く環境の整備を行い、実行結果を塾で検証します。

(社福) いたるセンター『あけぼの作業所』

●助成内容：レトルト釜、缶巻絞め機の増設資金2,248,560円を助成。

●目的：カレー缶事業を今後の売上の柱として給料増額を達成していきます。そのために、レトルト釜と缶巻絞め機の増設を行い、現状の生産1ラインを2ラインに強化します。生産を増やすことで利用者さんのスキルも向上。新たにお惣菜缶、新規受注缶の事業の立ち上げも目指し、現在16,000円の平均給料を3年後に3万円にする計画です。



熊田 塾

農業を柱に商・工と連携して地域に根付いたさまざまな事業アイデアを創出する（社福）こころんの熊田常務理事・施設長が塾長です。塾生たちは、人と人のつながりを活かし、農福連携に新しい可能性を広げていく塾長のノウハウを学ぶとともに、PDCAサイクルにより計画・実行・評価・行動を繰り返すことで、目標とする売上、利用者さんの給料増額達成を目指します。

●塾長：（社福）こころん 常務理事・施設長 熊田 芳江 氏

○略歴

2002年にNPO法人を設立。東日本大震災後は、地元復興のため本格的に農業へ進出。2011年「地域住民と協力し、障がいのある方の働く場を創出する」ため（社福）こころんを立ち上げる。安心・安全な農作物を生産し、地元企業と6次産業化を目指す新商品も開発。地元の野菜や加工品を直売カフェ「こころや」で販売して地域活性化に貢献。2015年10月～2017年9月『夢へのかけ橋実践塾 熊田塾』塾長。第14回ヤマト福祉財団 小倉昌男賞受賞（2013年度）。

「農業を趣味ではなく、きちんと給料を支払う就労事業に」

塾長の 名言

農業を1反歩くらいでやっているようでは、趣味に過ぎません。つくれるものを栽培するのではなく、求められるものを、いつ、どこに、だれに、どれだけ販売するのか、利用者さんに支払う給料から逆算して計画的に行えてこそ、就労事業と言えるのです。

熊田塾：9施設（平成27年10月スタート時）

【法人名】	【事業所名】	【事業所形態】	【事業内容（要旨）】	【取り組みたい事業（要旨）】
（NPO）青ねこくらぶ	青ねこ広場	就労継続B型	再生自転車販売・不要自転車の引き取りや修理	不要自転車再生事業・農作物移動販売・自転車出張修理・音楽喫茶店
（社福）八身福祉会	八身共同印刷	就労継続B型・就労移行	下請け作業・印刷事業・水耕栽培事業・施設外就労	水耕栽培・露地栽培・廃棄野菜の6次産業化
（社福）有田つくし福祉会	早月農園	就労継続B型	野菜・ミカン・梅・山椒などの栽培	規格外品を活用した商品開発
（社福）ひびき福祉会	ワークセンターひびき	就労継続B型・生活介護・就労移行	店舗販売・印刷・ウエスの製造販売・食品加工・クロネコDM便・清掃	全国の障がい者事業所の商品、野菜などの店舗販売
（NPO）なでらの森	ぼぶら	就労継続A型	農作物の乾燥・製粉事業・自主製品販売	6次産業化・地場製品の創出など
（社福）ゆずりは会	菜の花	就労継続B型・就労移行	農業・パソコン解体・販売軽作業・委託作業	農福連携・6次産業化
（社福）赤城の家	赤城の家	就労継続B型・生活介護・就労移行	工業・農業・加工・木工・縫製	農業
（社福）恵泉会	愛光園	就労継続B型	電子部品組立て・箱折り・食品加工	遊休農地の活用・規格外の果物の加工・水耕栽培
（社福）宮共生会	ショップ＆カフェみつば	就労継続A型	委託販売など	6次産業化

熊田塾活動報告

》 第6回研修会・自然栽培パーティ第2回全国フォーラムに参加

● 日 時：平成29年5月19・20・21日

● 場 所：郡山市民文化センター(福島県郡山市)／(社福)こころん(福島県西白河郡)

熊田塾生は、5月19・20日に福島県郡山市で開かれた自然栽培パーティ第2回全国フォーラムに参加しました。翌日の分科会では、無農薬・無肥料・無除草剤での農業を实践する施設の活動報告を聞き、自身で自然栽培を行う際の参考としました。

その後、福島県の熊田塾長の施設(社福)こころんへ移動し、第6回熊田塾を開催しました。地元農家の旬の農産物や加工品などで充実した商品を揃える「直売カフェこころや」を見学。熊田塾長は、地域の方と福祉施設の双方にメリットを生む工夫を凝らしています。最初に取り組んだシイタケ栽培、地元企業との共同商品開発、さらに販売ネットワークの拡大など、自ら実践するさまざまなアイデアを伝えました。また、塾長が参加している全国農福連携推進協議会が、2020年東京オリンピック・パラリンピックで「障がい者の手による食材の提供」を支援すること、そこに自分たちがどう関わっていけるかについても説明し、情報を共有しました。

翌日は、塾生たちが現在の状況を報告。主力のお米やタマネギ以外の野菜の栽培への着手、ミカンを使った加工品の開発、販売店のレイアウト改善案など、塾生たちはそれぞれに残り3ヵ月で成果を上げるための取り組みを続けています。



■ 第6回研修会の内容

日 程	プログラム
5月19日	■ 自然栽培パーティ 第2回全国フォーラム (郡山市民文化センター)
5月20日	■ フォーラム分科会 (郡山ビューホテルアネックス) ■ こころん見学／塾長講話
5月21日	■ 塾生発表／質疑応答

》》 塾長視察

● 日 時：平成29年8月31日

● 場 所：(社福)宮共生会・ショップ&カフェみつば(長崎県佐世保市)

8月31日、熊田塾長は、塾生施設(社福)宮共生会のショップ&カフェみつばを視察しました。塾生は、自家焙煎したコーヒー豆を使ったコーヒースタンドの新規事業を計画。しかし、家賃・駐車場の問題などを抱え、店舗移転を余儀なくされ、入塾後、なかなか成果を出せずくやしい思いをしてきました。

「3月にやっとコーヒースタンドをオープンしました。さらに久遠チョコレートのランチとしてチョコの製造販売を行うことも決定。今後はチョコやコーヒーだけではなく、自施設でつくる野菜、惣菜、弁当、県内の他施設の商品も販売するショップ&カフェとして、利用者さんの給料増額を目指します」。

ところが人事異動で塾生は、後任に店舗を託すことに。「これまで職員の意識改革でも苦勞してきました。全員が足並みを揃えていくには、目標を正しく数字で示していくことが大切だと痛感しています。ヤマト福祉財団に提供いただいている収支管理システムを使いこなし、原価計算などもしっかり反映した数字を提示し、利用者さんの給料増額へみんなで進めるように」と後任へバトンを渡す準備を進めています。

■ 塾長視察の内容

日 程	プログラム
8月31日	■ ショップ&カフェみつば現地視察／塾生報告 ■ 塾長考察



》》 合同研修会・修了式

※概要・プログラムはP20を参照ください。

● 日 時：平成29年9月8・9日

● 場 所：晴海グランドホテル・晴海パークビル(東京都中央区)

9月8・9日の合同修了式で、熊田塾生9名は、他の2塾とともに2年間の成果報告を行いました。

「農業初心者には難しいと塾長に心配をおかけした水耕栽培も周辺農家のご協力のもとやっと軌道に乗ってきました」「つくりたいものではなく、売れる作物に絞り込む姿勢へと変化。今は長ネギを主力に4万円の給料も実現できています」「当施設の和歌山ミカンを塾のみなさんに購入・販売いただいて売上も伸びてきました。これからはマーマレードの製造も本格的に開始します」。他にもミカン、サヤエンドウ、だだちゃ豆など、他施設の目玉商品を仕入れ販売することで品揃えも充実し、売上にもプラスとなったなど、各塾生が2年間の手応えを報告しました。

熊田塾長は「熊田塾は、一人ひとりの工夫はもちろんですが、情報交換を密にしてそれぞれの農作物や商品、所有する設備などを連携して活かすことで、互いに売上を伸ばしてきました。今後も失敗を恐れず、どんどん挑戦してください。塾生間のネットワークを大切に、いろんな経験をみんなで共有し役立ててください」とエールを贈りました。塾生たちも「これからは熊田塾のつながりを活かしていこう」と今後の協力を確かめました。



熟長賞
受賞者

(社福)ゆずりは会『菜の花』
野菜とお米を生産の柱に農作物の品目を拡大など

小淵 久徳さん

「農業は挑戦が大切です。作付け面積を倍にし、自然栽培などチャレンジを続けた小淵さんに贈ります」と熊田塾長。「PDCAを行うことで売上拡大・給料増額のアイデアを全職員が立案するように変化しました。機械化やライン化も行い、生産性が上がり、売上は約500万円から約1300万円に伸びました。今後は、一反パートナーという買い取り先が確定していて安心して挑戦できる自然栽培パーティのプロジェクトにも参加し、多方面で売上拡大を目指します」。



■ 熊田塾各塾生の2年間の変化

単位：円（売上金額、平均給料） 単位：人（支払人数）

		平成27年7月	平成27年9月	平成27年12月	平成28年3月	平成28年7月	平成28年9月	平成28年12月	平成29年3月	平成29年7月
青ねこ広場	売上金額	171,368	132,295	143,164	293,683	219,243	249,814	228,549	231,236	249,832
	支払人数	12	13	10	10	10	10	9	8	9
	平均給料 (一人当たり)	22,408	16,573	28,500	30,225	19,660	23,180	26,167	32,206	25,467
八身共同印刷	売上金額	576,552	460,590	926,829	540,494	475,004	893,154	657,153	530,854	753,851
	支払人数	3	3	3	3	4	4	4	4	5
	平均給料 (一人当たり)	35,566	33,890	67,539	30,640	35,750	35,851	68,484	27,435	33,094
早月農園	売上金額	426,625	509,849	1,417,262	1,060,244	562,490	568,579	2,404,553	1,496,952	953,073
	支払人数	16	15	16	18	20	21	22	22	16
	平均給料 (一人当たり)	22,000	18,409	19,680	63,752	28,827	31,173	30,354	77,385	29,559
ワークセンター ひびき	売上金額	1,075,040	946,620	1,629,409	1,098,343	811,117	781,521	2,556,061	1,061,922	817,630
	支払人数	10	10	10	8	6	6	6	6	6
	平均給料 (一人当たり)	15,228	15,214	20,291	18,574	21,074	19,663	22,339	33,345	24,435
ぼぶら	売上金額	307,071	341,367	376,048	452,175	546,429	229,971	563,138	357,247	323,759
	支払人数	13	13	13	11	10	10	10	9	9
	平均給料 (一人当たり)	61,862	57,774	67,359	64,172	71,606	65,215	61,447	67,884	67,039
菜の花	売上金額	235,196	104,717	281,277	219,214	1,236,884	47,055	989,335	571,694	1,324,055
	支払人数	11	11	11	10	12	12	12	13	13
	平均給料 (一人当たり)	26,597	26,602	26,600	26,600	30,000	30,000	30,000	66,000	38,000
赤城の家	売上金額	460,781	473,691	628,360	546,978	811,671	582,668	942,101	544,781	806,976
	支払人数	13	13	13	13	12	14	13	14	13
	平均給料 (一人当たり)	30,897	30,683	31,582	29,906	28,948	28,867	32,926	32,028	38,231
愛光園	売上金額	298,259	305,915	330,000	130,000	124,001	98,998	91,347	106,749	210,859
	支払人数	32	32	33	14	14	14	13	13	14
	平均給料 (一人当たり)	9,320	9,559	10,000	8,000	9,000	8,500	8,300	8,692	9,830
ショップ&カフェ みつば	売上金額	751,286	503,641	784,549	429,520	179,220	469,564	668,929	531,934	1,866,828
	支払人数	12	13	12	13	15	13	12	13	15
	平均給料 (一人当たり)	48,222	40,742	53,672	44,379	44,313	47,074	46,927	48,457	51,141

合同研修会・修了式

●日時：平成29年9月8・9日
●場所：晴海グランドホテル・
晴海パークビル（東京都中央区）

2年間の成功と失敗を今後の糧に 卒業後、成果を上げた先輩にも刺激を受ける

平成27年9月より研修を開始した5万円必達塾、第2期亀井塾、熊田塾の3塾は、2年間の研修を終え、9月8・9日に合同研修会・修了式を行いました。当日は、2年目の研修に入った新堂塾生、本日より新たにスタートする第2期楠元塾生も参加。瀬戸理事長は「成功したことも、失敗したことも包み隠さずに後輩たちへ伝えてください」と挨拶しました。

修了式を迎えた18名の塾生たちは、それぞれが取り組んできた内容と成果、さらに達成できなかった点とその原因についても振り返り、塾修了後も利用者さんの給料増額を目指して改善を進めていきたいと報告しました。

修了式には、夢へのかけ橋実践塾を卒業後、成長を遂げた二人の先輩も参加し、近況を伝えました。楠元塾1期生の（NPO）夢・さぼーとの福原和美さん（写真下から2番目）は「弁当の塾なのに弁当事業を立ち上げたのは、残り約半年になってから。ゼロからのスタートでしたが、卒業後も塾長の教えを守り、1ヵ月の販売数は約4,050食、150万円以上を売り上げるようになりました」と報告。新堂塾1期生の（NPO）出愛いの里福祉会の高橋勝茂さん（写真1番下）は「入塾時の給料支給額は約6,700円で、他の塾生の半分以下でした。塾の中で生産性を上げるライン化や利用者支援のあり方を学ぶことで、変わることができました。現在は営業に力を入れ、約4万円の給料を支給しています」と話しました。

「卒業しても終わりではありません。これからの切磋琢磨こそが大事です」と瀬戸理事長は、塾生たちにはなむけの言葉を贈り、続いて塾長賞の表彰を行いました。

翌日は、4塾長と菅野教授の講評を聞いたあと、各塾で分科会を開催。2年間の振り返りを行うとともに、卒業後も塾長の教えを胸に、目標を見失わず取り組みを続けていくことなどを誓いました。



新堂塾 (第3期)



新堂塾は、生産効率を高めるライン化の実現で給料増額を目指しています。塾長である（社福）武蔵野千川福祉会新堂常務理事は「ライン化とは、いままで一人で行っていた仕事を、いくつかの工程に分け、複数人で分担作業することで生産性を上げ、売り上げを伸ばすこと」と伝え、塾生は、働く環境の改善、ビジネスマナー、お客様へのアプローチなど総合的な改善に取り組んでいます。

●塾長：（社福）武蔵野千川福祉会 常務理事 新堂 薫氏

○略歴

1985年、千川作業所に指導員として就職。1987年のチャレンジャー設立とともに異動し、1999年に同施設長に就任。社会福祉士。2010年9月～2013年3月『障がい者の働くちから革新塾（第1期新堂塾）』塾長。2013年9月～2015年9月『夢へのかけ橋実践塾 新堂塾（第2期）』塾長。2016年9月～『新堂塾（第3期）』塾長。第9回ヤマト福祉財団 小倉昌男賞受賞（2008年度）。

塾長の 名言

「利用者さんの給料・能力アップは、職員の力量次第」

「利用者さんに適した仕事を提供できれば、職業能力も高まり、給料も上がります。利用者さんの給料が上がっても職員の給料は上がりませんが、利用者さんのことを本気で考え、仕事にプライドを持っている人にはやりがいとなるはず。すべては職員の力量次第です」。

新堂塾：8施設（平成30年3月現在）

【法人名】	【事業所名】	【事業所形態】	【事業内容（要旨）】	【取り組みたい事業（要旨）】
（NPO）ウイング	ウイングデイ	就労継続B型・生活介護	100円ショップ商品の組み立て・袋詰め、DM封入	ネットショップ
（社福）福成会	チャレンジ・コヤリバ	就労継続B型・就労移行・生活介護	事業所内外での軽作業、清掃など	軽作業の単価アップ、施設外就労の給料向上、作業ラインの見直し、環境整備
（社福）大阪聴覚障害者福祉会	あいらぶ工房	就労継続B型・生活介護	製パン、製菓、施設内外販売、下請け作業（ねじ加工、100円ショップ商品封入など）	軽作業の単価アップ、定期的下請け受注
（社福）三木市社会福祉協議会	はばたきの丘	生活介護・自立訓練	施設内で安全用具部品（ヘルメット、マスクなど）や自動車部品の組み立て、施設外で検品作業など	ヘルメット部品製造などで給料を向上、縫製機械導入で生産性向上
（社福）白いキャンパス福祉会	白いキャンパス	就労継続B型・就労移行	さをり織り・クッキーとパンの製造販売・受託作業	受託作業
（社福）ゆずりは会	エール	就労継続B型・就労移行	クリーニング事業・農業	クリーニング事業
（社福）武蔵野千川福祉会	ワークイン関前	就労継続B型・就労移行	DM封入封かん作業、ボールペン詰め、施設外就労（清掃作業）	DMの封入封かん作業による収益向上
（社福）武蔵野千川福祉会	武蔵境ワーキングセンター	就労継続B型・就労移行	DMの封入封かん作業	DMの封入封かん作業による収益向上

》》 合同研修会・修了式（第4回研修会）

※概要・プログラムはP20を参照ください。

● 日 時：平成29年9月8・9日

● 場 所：晴海グランドホテル・晴海パークビル（東京都中央区）

2年間の折り返し地点に立った新堂塾の第4回研修会は、9月8・9日、晴海グランドホテルで行われた合同研修会・修了式と同時開催しました。

初日は、各塾生がライン化や5Sでの職場改善と売上・給料について中間報告を行いました。その報告内容をもとに、翌日の分科会で新堂塾長と菅野教授が各塾生に改善点を指導。全員共通の課題として「目標の達成には、利用者さん一人ひとりを見つめたアプローチが必要です。各人に合う仕事、役割分担を見極め、できる仕事範囲と作業量を増やしていくこと。その実現に、職員は動作分析、工程分析などをより深く学んでいかなければなりません」と菅野教授。新堂塾長は「仕事は生き物です。良い感じで受注できていても突然途切れてしまうこともあれば、少ない受注だった取引先が伸びはじめていくこともあります。大切なのは、営業努力と利用者さんの育成を続けること。

利用者さんの職業能力を高めれば、給料が上がるとともに仕事への自信も付き、施設全体の生産性も上がります」と塾生に説明しました。



》》 第5回研修会

● 日 時：平成30年3月2・3日

● 場 所：（社福）ゆずりは会・エール（群馬県前橋市）

第5回新堂塾は、クリーニングと農業、食品加工を行う群馬県前橋市の塾生施設（社福）ゆずりは会の事業所エールへ。売上の柱はクリーニングで、現在の月額平均給料は30,700円。売上向上とともに利用者さん主導となるリーダー育成を課題にしています。現場見学では、クリーニング作業で大切なたたみ、検品などの流れをチェック。動線の問題点などを見直していきましました。

現場を見学した塾生からは「ルールを示す掲示物が多すぎてどう動いて良いのかわかりにくい」といった指摘も。新堂塾長は「作業の流れが見えにくいですね。工程ごとの班長（職員）の真似をすることからリーダー育成をはじめると良いでしょう」と話しました。アドバイザーの菅野 敦教授は「利用者さんへのアプローチは環境づくりから。利用者さんは、なにをしているのかわからないまま仕事をしていくと疲れてやる気もなくなってしまいます。いま自分がどんな仕事をしているのか、全体の流れもわかりやすく見える化していくことが大事です」と伝えました。



■ 第5回研修会の内容

日 程	プログラム
3月2日	■（社福）ゆずりは会・エール見学 ■ 理事長説明／見学の振り返り（前橋マーキュリー会議室） ■ 菅野教授講義（施設職員も参加）
3月3日	■ 塾生の課題発表（前橋マーキュリー会議室） ■ 菅野教授講評／新堂塾長講義



はばたきの丘は、見学・勉強会で新堂塾長、菅野教授に指摘を受けた点を改善。「利用者さんが、自分の前後の作業も理解できるよう、作業工程をわかりやすく4グループに分けました。ボードには、当日のノルマ数を示すマグネットを貼付け、利用者さんは自分がつくった数だけ外していくことで、どこまで仕事が進んだかが一目でわかるようにも工夫。利用者さんから選出したグループリーダーが、これを見て遅れているところに他の利用者さんをサポートにまわす指示を出せるように指導もしています」。



■ 新堂塾3期生 平成29年度実績

単位：円（売上金額、平均給料） 単位：人（支払人数）

		平成29年4月	平成29年5月	平成29年6月	平成29年7月	平成29年8月	平成29年9月	上期計	平成29年10月	平成29年11月	平成29年12月	平成30年1月	平成30年2月	平成30年3月	下期計	通期計
ウイングディ	売上金額	20,950	9,363	21,948	32,595	35,138	33,647	153,641	22,817	22,360	34,800	19,700	36,126	32,146	167,949	321,590
	支払人数	7	7	8	8	8	8	46	9	9	8	8	7	6	47	93
	平均給料 (一人当たり)	2,993	1,338	2,744	4,074	4,392	4,206	19,747	2,535	2,484	4,350	2,463	5,161	5,358	22,351	42,098
チャレンジ・コヤリバ	売上金額	233,989	234,989	214,111	253,724	245,136	283,960	1,465,909	288,065	266,858	301,727	299,641	318,827	304,388	1,779,506	3,245,415
	支払人数	9	9	8	9	9	9	53	9	9	9	9	9	9	54	107
	平均給料 (一人当たり)	23,149	23,271	23,347	24,761	23,752	28,370	146,650	28,777	26,573	29,954	29,473	31,784	30,271	176,832	323,482
あいらび工房	売上金額	320,387	172,343	267,258	146,922	187,602	192,645	1,287,157	169,952	214,450	182,172	217,184	192,213	233,847	1,209,818	2,496,975
	支払人数	12	12	12	12	11	12	71	12	11	10	11	10	10	64	135
	平均給料 (一人当たり)	13,760	13,728	14,273	13,388	14,399	14,195	83,743	12,636	17,364	15,967	16,386	16,841	20,615	99,809	183,552
はばたきの丘	売上金額	707,738	776,062	853,574	828,188	798,290	797,731	4,761,583	897,706	898,176	861,301	752,901	831,477	816,582	5,058,143	9,819,726
	支払人数	29	29	29	29	28	28	172	28	28	28	29	30	31	174	346
	平均給料 (一人当たり)	16,964	17,075	21,449	19,909	39,865	21,339	136,601	21,803	21,863	20,440	19,176	20,496	59,979	163,757	300,358
白いキャンパス	売上金額	329,620	316,605	225,744	197,001	182,283	241,405	1,492,658	429,952	422,173	230,051	274,566	254,142	469,385	2,080,269	3,572,927
	支払人数	17	17	18	18	18	18	106	18	17	17	17	17	17	103	209
	平均給料 (一人当たり)	14,779	14,559	14,622	14,583	14,833	14,833	88,209	14,622	14,624	14,912	14,679	14,312	14,600	87,749	175,958
エール	売上金額	1,444,319	1,551,509	2,356,240	1,741,654	1,676,414	1,512,359	10,282,495	1,626,869	1,807,893	2,064,238	1,894,937	1,832,919	2,080,786	11,307,642	21,590,137
	支払人数	33	32	30	31	32	32	190	31	32	31	29	29	30	182	372
	平均給料 (一人当たり)	29,768	30,699	32,746	30,699	30,700	30,700	185,312	30,699	32,700	30,699	30,700	30,700	30,699	186,197	371,509
ワークイン 関前	売上金額	1,202,278	1,630,368	1,419,747	1,514,400	1,112,697	1,566,971	8,446,461	1,226,769	1,294,602	1,416,773	1,243,502	1,344,845	1,308,087	7,834,578	16,281,039
	支払人数	26	26	26	26	26	26	156	26	26	26	26	26	26	156	312
	平均給料 (一人当たり)	42,095	42,460	46,470	41,225	36,513	42,516	251,279	44,477	40,927	40,315	37,117	40,043	102,661	305,540	556,819
武蔵境 ワーキング センター	売上金額	1,258,707	1,437,828	1,450,890	1,499,687	1,138,950	1,524,809	8,310,871	1,472,388	1,421,573	1,215,198	1,273,229	1,697,195	1,507,847	8,587,430	16,898,301
	支払人数	22	22	22	22	22	22	132	22	22	22	22	22	22	132	264
	平均給料 (一人当たり)	55,689	55,689	62,102	56,504	47,138	56,144	333,266	52,976	55,189	54,839	50,182	54,422	58,336	325,944	659,210

楠元塾 (第2期)



平成29年9月「弁当・配食サービス事業」を対象として給料増額を目指す楠元塾（第2期）を開講しました。塾長である（社福）キャンパスの会 楠元理事長は、“みなさんは第1期生が築いた弁当・配食サービス事業のノウハウをそのまま取り入れ、活用できます。さらに失敗例も成功例も参考にでき、より効率的に目標達成への近道を進めます。目指すのは、お客様が求める売れるメニューづくりと、利用者さんのことを考えた働く環境づくりです”と塾生に呼びかけています。

●塾長：（社福）キャンパスの会 理事長 楠元 洋子 氏

○略歴

2007年に（社福）キャンパスの会を立ち上げ、「障がいの重さに関係なく、一人でも多くの利用者さんに働く場とお給料を」のテーマで弁当・配食サービス事業を開始。現在1日2000食以上を販売。その他にもリネン事業、レストランの運営など、幅広く障がいのある方の働く場を創出している。また、2017年には重症心身障がい者と家族のために医療的ケアもできる福祉施設『はながしま診療所』を開設した。2014年9月～2016年9月『夢へのかけ橋実践塾 楠元塾（第1期）』塾長。2017年9月～『楠元塾（第2期）』塾長。第13回ヤマト福祉財団 小倉昌男賞受賞（2012年度）。

塾長の 名言

「食品関連は、5Sではなく7Sの徹底を」

「弁当・配食サービスでは、美味しいこと、満足度が高いことはもちろんですが、衛生・安全・品質管理が基本です。信頼を失えば利用者さんは仕事を失います。5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）に「洗浄・殺菌」を加えた「7S」として徹底してください」。

楠元塾塾生：9施設（平成30年3月現在）

【法人名】	【事業所名】	【事業所形態】	【事業内容（要旨）】	【今後の方向性】
（NPO）山脈	キッチンハウスみやま	就労継続B型	宅配弁当・昼食・イベント出店	現在270～300食を500食へ
（社福）尼崎あすなろ福祉会	あすなろ亭	就労継続B型	日替り弁当	生産性の向上
（社福）ハケ岳名水会	多機能事業所のはら楽団	就労継続A・B	弁当・給食・食堂	弁当を中心とした事業
（社福）小国町社会福祉協議会 サポートセンター悠愛	就労支援センター 陽なたぼっこ	就労継続A・B型	弁当	20名に80,000円支給
（一社）おひさま	いいはたらくばトボス	就労継続B型	弁当を中心とした事業を予定	弁当を中心とした事業を予定
（社福）入間東部福祉会	三芳太陽の家	就労継続B型・生活介護	弁当	弁当を中心とした事業
（NPO）海がめ	海がめ物語	就労継続B型	弁当・給食・スイーツ	4月に100食を目標
（NPO）ふれあい	就労継続B型 キャッチボール	就労継続B型	弁当	高齢者向け
（NPO）レスバイトケアはちもり	多機能事業所森のこびと	就労継続B型	パン・野菜生産・黒にんにく製造 ・食堂業務委託	弁当を中心とした事業

楠元塾活動報告

》》 合同研修会・開講式(第1回研修会)

※概要・プログラムはP20を参照ください。

● 日時：平成29年9月8・9日

● 場所：晴海グランドホテル・晴海パークビル(東京都中央区)

9月8・9日、弁当・配食サービス事業で利用者さんの給料増額に挑む楠元塾2期生たちの開講式・第1回研修会を開催しました。9名の塾生たちは、既に手広く弁当事業を行う者、高齢者向け配食を計画する者、これから弁当事業をはじめる者と、さまざまです。

初日は、合同研修会・修了式に参加し、他塾の先輩たちの取り組み報告や塾長たちの講評を拝聴。さらに、特別参加した楠元塾1期生の卒業生から、2年間、楠元塾長からなにを学び、どう実践してきたか、卒業した今もその経験を活かし、どのように工夫しているかを聞くことができました。「私は弁当・配食サービスを未経験で入塾しました。他の塾生が成果を上げていく中、なにも発表できず歯がゆい思いをしていましたが、彼らの失敗、成功談を参考にして事業準備を進めることができました。現在は1ヵ月で4,000個を超える販売数になっています。私たち1期生の事例をぜひ参考にしてください」と伝えました。

翌日の第1回研修会で、まず楠元塾長は1枚のシートを塾生たちに配布。「どんな弁当をつくり、どう営業し、だれに、何個売りたいのか。それはいつまでにやり遂げたいのかなどを記入してきてください。2年間でどう変わっていきたいのかを明確にしてもらえれば、個別アドバイスをしやすく、一緒に改善を進めることができます」と最初の課題を与えました。

続いて塾長の施設(社福)キャンパスの会では、どのような弁当づくり、配食サービスを行っているかを写真とともに紹介。「私は、すべてのメニューの写真を撮り、あとで確認できるようにしています。みなさんもこれを実践しましょう。さらに理解してほしいのは、棚卸しです。材料はもちろん、どんな容器を選ぶかでも原価は変わってきます。棚卸しを正しくできるようになれば、それだけで利益は随分と向上します」と説明しました。

塾生たちは、自分たちには思いもつかなかった発想で弁当メニュー開発や顧客管理、衛生管理などを実践している塾長のやり方に感嘆。2年間で自分たちはどう変化していけるのか、期待と意欲に胸をふくらませています。



》》 第2回研修会

● 日 時：平成29年11月9・10日

● 場 所：(社福)キャンパスの会・AZMレストラン・(株)丸佳・お弁当のまるよし(宮崎県都城市)

第2回楠元塾は、11月9・10日に宮崎県の楠元塾長の施設(社福)キャンパスの会で開催しました。初日は、宮崎市JA会館内で運営するAZMレストランで、利用者さんたちの働く姿を見学。次に訪れたお惣菜を製造する(株)丸佳では、メニューに合わせて大量のゴボウやダイコンなどをカット、下味も付けて真空パックし長期保存する大量調理の方法を学びました。「こうして準備すれば、急にお弁当の大量注文が来ても対応できますし、統一した味で効率的に調理もできます」と説明を受けました。

翌日は、お弁当のまるよしで、利用者さんたちが弁当の盛り付けをラインに沿って効率的に進めている姿などを見学。研修では、楠元塾長が実践する日替りメニューの組み立て方、弁当づくりの流れ、棚卸しの方法、高齢者配食での工夫点などのレクチャーを受けました。

「お客様の弁当箱には、一人ずつ気をつけなければならないポイントのメモを添付しています。福祉施設では、高齢者食に必要なキザミ・トロミ食を、日頃から利用者さんに提供していますが、コンビニなどでは簡単に対応できません。私たち福祉施設の得意分野を伸ばしていくことが、成功の鍵となります」と楠元塾長。塾生たちは、楠元塾長のアイデアを自施設の職員に伝え、ぜひ取り入れていきたいと、調理や盛り付け作業の様子から、棚卸しや衛生管理の徹底した進め方までを細かく写真におさめていました。



■ 第2回研修会の内容

日 程	プログラム
11月9日	■ AZMレストラン見学／(株)丸佳見学 ■ 課題による塾生報告 ■ 大量調理の試食
11月10日	■ お弁当のまるよし見学 ■ 振り返り勉強会 ■ 弁当試食

》》 第3回研修会

● 日 時：平成30年2月16・17日

● 場 所：(社福)尼崎あすなろ福祉会・あすなろ亭(兵庫県尼崎市)

2月16・17日、第3回楠元塾を兵庫県尼崎市にある塾生施設(社福)尼崎あすなろ福祉会のあすなろ亭で開催しました。朝早く利用者さんたちが弁当の調理、盛り付けを行うため、楠元塾長は一足早く現地へ。早朝から参加できた一部塾生と自らの勉強のために特別参加した1期生とともに、細かく朝の作業の様子をチェックしました。研修会で楠元塾長は「4列で行っていた弁当の盛り付けを2列にするように」とアドバイス。これにより、ご飯やおかずの入れ物などを置くスペースを確保でき、動線も良くなります。さらに衛生管理を厳しく指導しました。「まな板の洗浄や手洗いはもちろん、服装を統一し毎日洗うこと。食器を拭くタオルもペーパータオルに変えること。食品関係は衛生管理の徹底が基本であり、これができないと



仕事を失うことにもなりかねません。その上で賃金向上か、個数を増やすか、職員が目的を共有し進むことが大事です」と伝えました。

塾生たちの目を引いたのは、自転車カゴに取り付けた弁当の広告です。「前回、盛り付けの彩りが良くないと指摘を受け利用者さんもアイデアを出して改善。カラーコピーでレシピ、メニュー、チラシを利用者さんにわかりやすく作成しました。これを自転車に付けて宣伝しています」。

翌日は、塾生たちが現状を報告。「職員に感想ノートを付けさせ、メニューへの気づき、お客様の反応やクレームなどを全職員が共有しています」「炊飯器をより簡単なものにして利用者さんにも担当できるようにしました」「厨房の拡張工事を進めています。盛り付け台の位置などもっと効率的に動けるレイアウトを工夫中です」「塾長施設のメニューから良いところ

を取り入れ、自分なりの新メニューも出しています」など、取り組みはさまざまです。楠元塾長は、一人ひとりが提出した報告書のメニュー写真や棚卸し表などをチェックし、今後の改善点をアドバイスしていききました。



■ 第3回研修会の内容

日 程	プログラム
2月16日	■ あすなる亭弁当試食・見学 ■ あすなる亭報告・質疑応答 ■ 楠元塾長より講義
2月17日	■ 塾生報告

楠元塾 塾生の変化

(社福) 尼崎あすなる福祉会『あすなる亭』

弁当事業

2月の研修時に楠元塾長に指導を受けたあすなる亭は、早速、改善を進めています。厨房内の作業環境は、楠元塾長にアドバイスされた盛り付けを4列から2列で行うことを実践。「新しい作業スタイルに利用者さんも慣れ、スピードが格段に向上しました。朝のミーティングは不要と指摘され、ミーティングは1日の終わりに行うようにし、朝の空いた時間を活かしてご飯を20分早く炊きはじめました。これらの成果は販売数に現れ、3月は毎日100食以上を達成し、いままでの数字を更新中です。利用者さん、職員ともに改善して良かったと実感しています。衛生・安全管理の徹底では、虫ピンなどを厨房内から排除。食器洗いに使うスポンジの交換頻度を多くし、トング、スプーン、包丁、お玉などは、毎日5分間煮沸消毒しています。盛り付けではトング、バット、エンボス手袋を使うようにしました。また、材料費を削減し利益率を上げるため近隣農家に営業。野菜と米の取引をすることになり、少しはコスト減も見込めそうです」。



夢へのかけ橋実践塾 卒業者へのサポート

利用者さんの給料増額という同じ目標に向かい2年間苦勞をともにしてきた夢へのかけ橋実践塾の卒業者たち（第1・2期武田塾、新堂塾、亀井塾／第1期楠元塾、熊田塾、5万円必達塾）。そのつながりは現在も続き、卒業者自らが研修会などを企画し、その開催をヤマト福祉財団がサポートしています。

》》 楠元塾・第1回楠の会

- 日 時：平成29年9月9日
- 場 所：晴海グランドホテル(東京都中央区)

卒業から約1年が過ぎた第1期楠元塾塾生の有志が集い、9月9日に現在の取り組みと成果を報告しました。「利用者さんが9人から20人に増え、先輩利用者さんが弁当づくりを1から教えています。市の倉庫街活性化構想で倉庫を利用したレストランをオープンしました」。「50食の弁当を買ってくれる新規の会社ことができました。他にも20食プラスして購入してくれる会社も現れ、順調に販売数を伸ばしています」「新しくはじめたレストランは、当初月60万円だった売上が今は倍の130万円になっています」などを報告。楠元塾長は、事業域が広がったことで店舗ごとに出入帳を付けた方がよいなどのアドバイスを与えながら、塾での学びを活かして着実に成長する卒業者の姿に笑顔が絶えませんでした。



■ 第1回楠の会の内容

日 程	プログラム
9月9日	■ 卒業者の1年間の成果報告 ■ 楠元塾長講評 ■ 今後の活動計画

》》 新堂塾・第3回フォローアップ研修

- 日 時：平成29年10月27・28日
- 場 所：(社福)ゆたか福祉会・ワークセンターフレンズ星崎(愛知県名古屋市)

塾卒業者の施設を見学し、互いの取り組みを報告・検討し合う新堂塾フォローアップ研修。第3回目は、名古屋市の(社福)ゆたか福祉会・ワークセンターフレンズ星崎を訪ね、職員20名とともに研修を行いました。仕事場で全員が目にしたのは、電光掲示板です。ワークセンターフレンズ星崎では、その日の目標数と到達具合を電光掲示板で表示し、一目で進捗状況がわかるようにしています。

見学後と翌日に、卒業者が最近の取り組みを発表。「お金に換算したマグネットの数で各利用者さんの出来高を示し、意欲を高めている」。「定期案件を獲得し、DMの売上を前年比320%に伸ばすことができた」など、それぞれの成果を報告しました。新堂塾のアドバイザー・東京学芸大学 菅野教授は「仕事の進み具合や利用者さんの成長レベルを数値化し、だれも見えるようにしている点が良い」など各自の取り組みについて講評。その後、(社福)ゆたか福祉会の鈴木清覚理事長より特別講演も行われました。最後に菅野教授は「今後も一つひとつ経験を積み上げながら、利用者さんへのアプローチを進めてほしい」と呼びかけました。



■ 第3回フォローアップ研修の内容

日 程	プログラム
10月27日	■ フレンズ星崎見学 ■ 卒業者報告・質疑
10月28日	■ 卒業者報告・質疑 ■ 菅野教授の講評・講演 ■ 鈴木理事長より特別講演

》》 亀井塾・第3回お菓子分科会

● 日 時：平成30年2月24日

● 場 所：(社福)ひびき福祉会・ハイワークひびき(大阪府東大阪市)

亀井塾卒業生以外にも門戸を広げ、多くの施設がパティシエからお菓子作りの基本やオリジナルレシピを学べる第3回お菓子分科会を開催。参加10施設は、「商品開発」をテーマに今後手がけていきたい新商品などをリクエストし、亀井塾長の施設・ハイワークひびきのパティシエが実演指導しました。

「私たちが20年かけて築き上げた有名お菓子屋さんに負けないレシピやノウハウを吸収し、利用者さんのために役立ててほしい」と亀井塾長が挨拶。久合田パティシエが、商品開発の考え方について、本などにある基本レシピからどうアレンジしていくか、材料の選択と活用、焼き方のコツなどを披露しました。

試作したラングドシャ、ダクワーズ、多彩な味のクッキー、他にもカレーと一緒に提供するスコーンなど、参加者は自分が希望したお菓子作りをパティシエから丁寧に指導を受けることができ、プロの技とこれから施設の新しい顔となるかもしれない新商品のレシピを持ち帰ることができました。



■ 第3回お菓子分科会の内容

日 程	プログラム
2月24日	■ 亀井塾長より挨拶 ■ 久合田パティシエより講義 ■ お菓子作り実演 ■ 試食・質疑応答

》》 熊田塾・熊田塾特別研修会

● 日 時：平成30年3月10・11日

● 場 所：(社福)八身福祉会(滋賀県東近江市)／
西京極陸上競技場(京都府京都市)

3月10・11日、熊田塾生卒業生たちが集まり、特別研修会を開きました。初日は、滋賀県の塾生施設(社福)八身福祉会へ。「在塾中はハウス移転などで水耕栽培を本格稼働できませんでしたが、いまは設備も整い、軌道に乗ってきました」と報告しました。他の卒業生も「地方紙に取り上げてもらい売上も伸びました」「売上2億円、給料5万円プロジェクトを進めています」「農業とは違う新規事業を開始して大忙しです」「農場長として売り場のリサーチを進めています」など近況を報告。熊田塾長は「みなさん2年間いろいろな可能性の種をまいてきましたが、それが実りはじめましたね」とうれしそうに講評しました。

翌日は、京都市で開催された第29回全国車いす駅伝競走大会の競技会場・西京極陸上競技場へ移動し、農福連携のマルシェ(ノウフク朝市)に参加しました。「熊田塾をはじめたころから、みんなでマルシェをやろうと話してきましたが、ここでやっと実現できました。いつかは塾生の手で企画運営するマルシェも開きましょう」と熊田塾長は呼びかけていました。



■ 熊田塾特別研修会の内容

日 程	プログラム
3月10日	■ 八身福祉会見学 ■ 熊田塾長講話 ■ 塾生近況報告
3月11日	■ マルシェ(ノウフク朝市)参加(西京極陸上競技場)

全Aネットへの助成について

全Aネット※は、全国の就労継続支援A型事業所の実態調査報告書をまとめました

障がい者の就労形態の一つである「就労継続支援A型事業」は、障がい者と事業所が雇用契約を結び、労働者としての身分保障をする制度です。近年、A型事業所が急激に増加する中で、労働契約と福祉サービスを両立するこの制度を担当している福祉の現場には戸惑いがあります。また、A型事業所の運営には多くの課題があり、さらに事業所のタイプにも一般就労に近い形態を目指すところをはじめとしていろいろな違いがあります。そこで働く利用者も、障がいの種類の別はもちろんさまざまな方がいらっしゃいます。

A型事業所のこうした複雑な状況を把握するため全Aネットでは、平成27年度に全国A型事業所実態調査の予備サンプル調査を行いました。平成28年度にはこの予備調査を踏まえた全国A型事業所の全数調査により、実態調査報告書を取りまとめました。

ヤマト福祉財団は平成27年度の予備調査の緊急助成に続き、同28年度の全国実態調査にも助成を行いました。

※「全Aネット＝NPO法人就労継続支援A型事業所全国協議会」は、障がい者の就労を支援する企業や福祉施設、NPO法人などが集い、障がい者が雇用契約を締結して働く「A型事業所」の「在るべき姿」を全国的な情報交換と論議を通じて検討し、政策提言につなげる全国組織です。

■ A型事業所全国実態調査の実施と調査報告書について

●調査概要

- 目的：A型事業所全体のサービス向上と経営の健全化に向けて、現状と課題を把握し、将来の方向性を提言します。
- 調査対象：全国3,494カ所のすべての就労継続A型事業所に平成29年2月に郵送により調査票を送付。回収は、郵送およびWebにて実施しました。
- 回答数：平成29年3月までに、郵送663票、Web279票、合計942票の有効回答を得ました。
※回収率：郵送19.7%、Web8.3%、合計28%

●調査結果のポイント

平成29年8月に調査結果および提言を全国実態調査報告書「就労継続支援A型事業の課題と今後のあり方について」として取りまとめました。以下は調査結果のポイントです。

- ・事業所は2012年から開設数が毎年100以上のペースで増えている。
- ・運営主体は「企業」が50.0%、「社福」が20.7%、「NPO」が18.0%。（図表1参照）
- ・回答事業所の定員数は17,596名、実員数は17,370名。定員規模別の事業所数では、11～20名が60.6%で、平均は18.8名。
- ・利用者一人あたりの月額平均賃金の平均値では、最高額は93,556円、最低額52,963円、平均値73,374円。最高額は最低額の1.8倍。（図表2参照）
- ・実労働時間は、「週20～30時間」が55.5%、「30～40時間」が18.3%。（図表3参照）

●調査結果を踏まえた同報告書の今後の課題と提言

○さまざまな課題：

- ・良質な仕事の確保、事業に対する経営感覚の醸成、一般就労との相互移行対応の強化。
- ・就労条件の改善、利用者の成長（能力開発等）の促進等、働きづらい者への利用拡大。

○課題の解決に向けて：

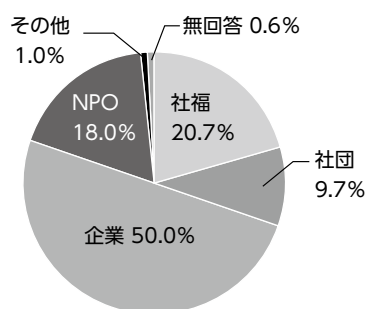
(1) 全Aネットにおいて直接取り組むべき課題

- ・好事例集、チェックリスト、マニュアル等を作成する。
- ・標準・基準を策定し、優良なA型事業所を適切に認定する。

(2) 政府への要望事項

- ・働きづらい者の受入れのため、生活困窮者支援、刑務所出所者支援などの制度を活用できる仕組み作り。
- ・長時間の就労者が多い・社会保険加入就労者が多い事業所を優遇する報酬制度の導入。
- ・発注分を発注企業の障害者雇用率にかさ上げする「みなし雇用制度」の導入検討。

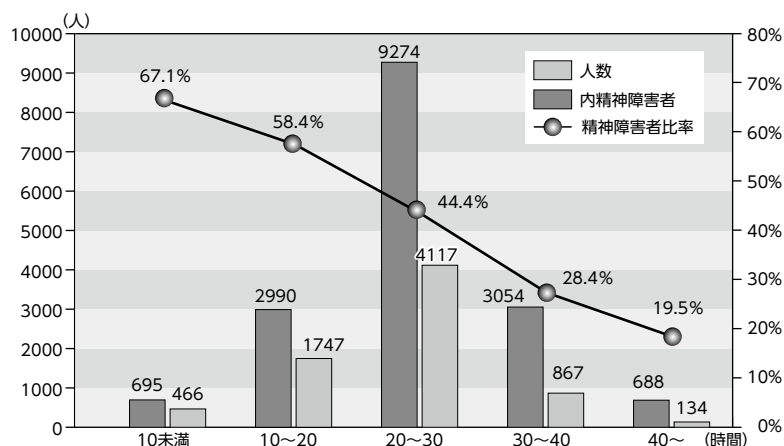
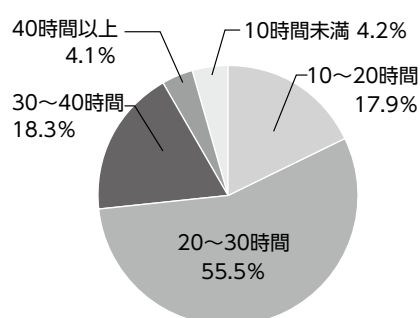
●図表1 事業所の運営主体（単数回答・942票）



●図表2 利用者一人あたりでみた年間賃金総額の月平均

	月平均の最高額	月平均の最低額	月平均の平均額
平均値	93,556円	52,963円	73,374円

●図表3 実労働時間（総数16,701人、内精神障害者7,331人）



ネパール小児白内障治療プロジェクトの報告

第17回ヤマト福祉財団小倉昌男賞を受賞された竹内昌彦氏らが途上国小児の白内障治療を目的に「ヒカリカナタ基金」を創設。賞の副賞賞金もその基金の一部となりました。

子どもの頃に失明した竹内氏は、講演活動やご自身の半生を綴った書籍の売上金すべてをモンゴルのマッサージスクールやキルギスの視覚障害者リハビリテーションセンターの建設、貧困により手術を諦めていた視覚障がい児の手術費用を肩代わりするなどの支援に充てています。

財団は、竹内氏から相談を受け、ヤマトグループで就労するネパール人が急増していること（約1000人）や、貧困により手術ができずに失明する白内障患者が多いことから、ネパールへの支援を提案しました。併せて財団が現地調査や監理その他の付帯費用を分担することを提案し、昨年12月にヒカリカナタ基金と財団で現地視察および現地医療チームとの実施合意文書に調印しました。

来年度12月に検査・治療を実施する予定です。



<概 要>

●現地視察・調印式メンバー

ヒカリカナタ基金10名、ヤマト福祉財団3名

●現地カウンターパート／本プロジェクトの受け入れ機関で診療・手術を実際に行います

プロフェッショナル・サポート・サービス・ネパール（PSSN）

●主な日程

12月09日	現地調査／目の検査を行う現地の診療所、小学校を視察 ダーディン郡の診療所、ククレチョール小学校、ジーバン小学校
12月10日	調印式・レセプション ネパールアイホスピタルの視察、PSSN・ヒカリカナタ基金・ヤマト福祉財団で実施合意文書に調印

》》 12月09日 ダーディン郡／診療所・ククレチョール小学校・ジーバン小学校
(検査・治療場所となります)



この地域を統括する診療所



机と椅子だけの教室
(ククレチョール小学校)



地震のために壊れた校舎の復旧
(ジーバン小学校)



診療所の薬局



日曜でしたが、英語の教師が駆けつけた
(ククレチョール小学校)



低学年の教室、英語とネパール語の並記
(ジーバン小学校)

》》 12月10日 ネパールアイホスピタル視察・実施合意文書に調印



ドクターサビーナの診察
(ネパールアイホスピタル)



ネパール側の受け入れ機関であるPSSNとの実施合意文書調印式。
ヒカリカナタ基金メンバー、PSSNスタッフ、財団が集まる。



》》 12月12日 障がい者訓練施設視察 (Community Based Rehabilitation Center)



カトマンズはアスファルトはところどころ、
バイクも多く、町全体がほこりっぽい。



知的・精神・身体障がいのある子どもたちの訓練施設で、重度、軽度のグループに
分かれている。ろうそくは施設の自主製品(写真・右)。



自然栽培パーティ 第2回全国フォーラム

● 日 時：平成29年5月19・20日

● 場 所：郡山市民文化センター／郡山ビューホテルアネックス(福島県郡山市)

5月19・20日、福島県の郡山市民文化センターで、自然栽培パーティの第2回全国フォーラムが開催されました。開催時で、自然栽培パーティの参加施設は、北海道から沖縄まで約60団体。フォーラムには、福祉と農業の関係者、また食の安全に関心を持つ多くの方も参加しています。佐伯代表は「利用者さんが、無農薬・無肥料・無除草剤でお米をつくり、日本と日本の農業をもっと元気にしよう」と呼びかけました。

開会にあたり瀬戸理事長は「日本には富山県ほどの広さの耕作放棄地があります。利用者さんの手で再生し、安心安全な作物を提供してください」と挨拶。

『奇跡のリンゴ』で有名な木村秋則氏は「2020東京オリンピック・パラリンピックで、自然栽培と農福連携により世界の人たちに日本の食の素晴らしさを伝えたい」と講演しました。続いて全国の参加団体が近況を報告し「近隣の保育園などの子供たちも参加している」「台風で他の田んぼの稲は倒れたが自然栽培の稲は大丈夫」「村中で無農薬のお米とお茶で玄米茶づくりをはじめている」などの声を届けました。佐伯代表も「耕作放棄地を再生する利用者さんは、いまや地域になくてはならない存在です」と話しています。

翌日の分科会では、自然栽培を実践している二つの施設と流通を担う企業が、現状を説明しました。また、郡山市の福祉施設で植樹祭も開催。自然栽培と農福連携が全国各地で根づくようにと、木村氏とともにリンゴの苗木を植えました。

この第2回全国フォーラムの開催を、本財団は支援しています。

■ 自然栽培パーティ 第2回全国フォーラムの内容

日 程	プログラム
5月19日	■ フォーラム・マルシェ（郡山市民文化センター） ■ 開会挨拶：佐伯康人代表（自然栽培パーティ） 瀬戸 薫理事長 ■ 記念講演「自然栽培 農福連携が世界を変える」木村秋則氏 ■ 自然栽培パーティ活動報告と実践報告
5月20日	■ フォーラム分科会（郡山ビューホテルアネックス） ■ 「はじめての自然栽培」（NPO）縁活 ■ 「自然栽培で楽しく働く」（社福）無門福祉会 ■ 「自然栽培の販売を通して広がるしあわせ」（有）サンスマイル ※植樹祭も開催



障がい者のクロネコDM便配達事業 ・進捗状況・

〈取り組み経過〉

平成29年11月	クロネコDM便配達本人特別報告会（地域開催の報告会）を開催。 全国1ヵ所の施設（北海道帯広市）で開催。
平成28年11月	クロネコDM便配達本人特別報告会（地域開催の報告会）を開催。 全国2ヵ所の施設（山形県鶴岡市・奈良県北葛城郡広陵町）で開催。
平成28年8月	事業マニュアル、小冊子「参入の手引き」をリニューアル。 ヤマト運輸（株）品質向上推進部と連携をとり、社内に9,080部納品。
平成27年10月～11月	クロネコDM便配達本人特別報告会（地域開催の報告会）を開催。 全国2ヵ所の施設（熊本県上益城郡益城町・神奈川県横浜市港北区）で開催。
平成27年4月	新サービス「クロネコDM便」開始。 「障がい者のクロネコメール便配達事業」は「障がい者のクロネコDM便配達事業」へと変更。
平成27年3月	「クロネコメール便」サービス廃止。
平成26年10月 ～平成27年2月	クロネコメール便配達本人特別報告会（地域開催の報告会）を開催。 全国3ヵ所の施設（東京都東村山市・長崎県佐世保市・栃木県小山市）で開催。
平成25年10月～11月	クロネコメール便配達本人特別報告会（地域開催の報告会）を開催。 全国3ヵ所の施設（神奈川県横浜市戸塚区・熊本県上益城郡益城町・埼玉県鴻巣市）で開催。
平成24年10月～11月	クロネコメール便配達本人特別報告会（地域開催の報告会）を開催。 全国4ヵ所の施設（岩手県紫波郡矢巾町・山梨県甲府市・東京都東村山市・兵庫県姫路市）で開催。
平成23年10月～11月	クロネコメール便配達本人特別報告会（地域開催の報告会）を開催。 全国4ヵ所の施設（大阪市住吉区・新潟県長岡市・宮崎県都城市・山形県鶴岡市）で開催。
平成22年12月12日	クロネコメール便配達 本人による特別報告会「私を、待っていてくれる人がいます。」を東北福祉大学で開催。約200名の参加者を前に、岩手県・山形県・宮城県・福島県の9施設23人が発表を行った。また実学臨床教育学生が、クロネコメール便配達施設でメール便配達を一日体験した様子を発表。
平成22年10月～11月	クロネコメール便配達本人特別報告会（地域開催のミニ報告会）を開催。 全国4ヵ所の施設（神奈川県横浜市磯子区・鹿児島県鹿屋市・福島県南相馬市・東京都江東区）で開催。
平成22年7月	障がい者施設向けクロネコメール便配達実績報告システム立ち上げ。 全国の事業参入施設から毎月の実績を報告してもらい、財団本部で集計するシステムを立ち上げる。

平成22年6月19日	クロネコメール便配達 本人による特別報告会を大分で開催。大分県でメール便配達事業を行う9施設が参加。23人のクロネコメイトさんが、自分の工夫や、配達先での出来事を報告。
平成21年12月12日	当事者33名と仙台北福社大学実学臨床教育推進室の学生12名、一般参加者156名による第5回メール便配達特別報告会「私を、待っていてくれる人がいます。」を開催。
平成21年8月22日	障がい者本人によるメール便配達特別報告会、関東地区「私を、待っていてくれる人がいます。」を開催。関東地区157名からなる参加者に、5都県10施設のクロネコメイトさん24名が、ありのままの声をお届けした。
平成21年5月～6月	事業参入マニュアルブックレット、「参入の手引き・動画版DVD」の制作と社内外への配布（200枚）。本事業のさらなる啓発広報と標準化促進を図るため、障害者支援関連団体とヤマト運輸（株）全国支店長および主管支店長、ならびにメール便営業課長に向けて配布。
平成21年3月16日	全国47都道府県全参入。
平成20年12月3日	配達状況アンケート調査を実施。昨年にひきつづき参入施設278ヵ所・配達従事者1,012名を対象とした調査。結果、配達に携わった約16%の障がいのある人達が一般の会社に就職。
平成20年11月1日	障がい者本人によるメール便配達特別報告会、仙台地区「私を、待っていてくれる人がいます。」を開催。東北福祉大学学園際で120名の参加者を前に、10施設21名のクロネコメイトさんが配達実践報告。さらに、実学臨床教育推進室の学生7名が「配達一日体験」で体感した働く大変さと達成感を実践報告した。
平成20年9月19日	NPO法人ソーシャル・イノベーション・ジャパン主催によるソーシャル・ビジネス賞「優秀賞」受賞。社会性・事業性・革新性の観点から、社会的事業として本事業が高い評価を受ける。
平成20年8月30日	障がい者本人によるメール便配達特別報告会、大分地区「私を、待っていてくれる人がいます。」を開催。130名の参加者が見守るなか、大分県内外から10ヵ所の施設・作業所のクロネコメイトさん27名が配達実践報告。
平成20年4月	施設・作業所のクロネコメイトさんが「ヤマトファン賞」を受賞。福祉施設ドリームブイ（東京都北区）所属メイト酒井さんが、お客さまからお褒めの言葉をいただく。
平成20年2月28日	（社団）日本フィランソロピー協会による第5回企業フィランソロピー大賞・特別賞「社会共生賞」を受賞。「共に生きる」意味を実感できる就業機会を提供し、また、障がい者と健常者を差別しない社会貢献のあるべき姿が本事業で取り組まれている活動として高い評価を受ける。
平成20年1月	ヤマト運輸（株）木川 眞社長が福祉施設を訪問。「現場で頑張っている皆さんの声を直接聞きたい」と、スワンカフェ＆ベーカリー事業を展開している障がい者就労支援センター『らいむ』（町田市）を訪れ、メイトの皆さん（5名）との座談会参加と現場での配達状況を視察。
平成20年1月	クロネコメール便配達事業〈個人別成長目標設定シート〉をテスト導入。潜在能力および顕在能力を開発し、自己実現するための育成支援ツールとして活用していただく。
平成19年12月 ～平成20年1月	12月26日時点での参入施設231ヵ所を対象に、各施設の配達状況アンケート調査を実施。

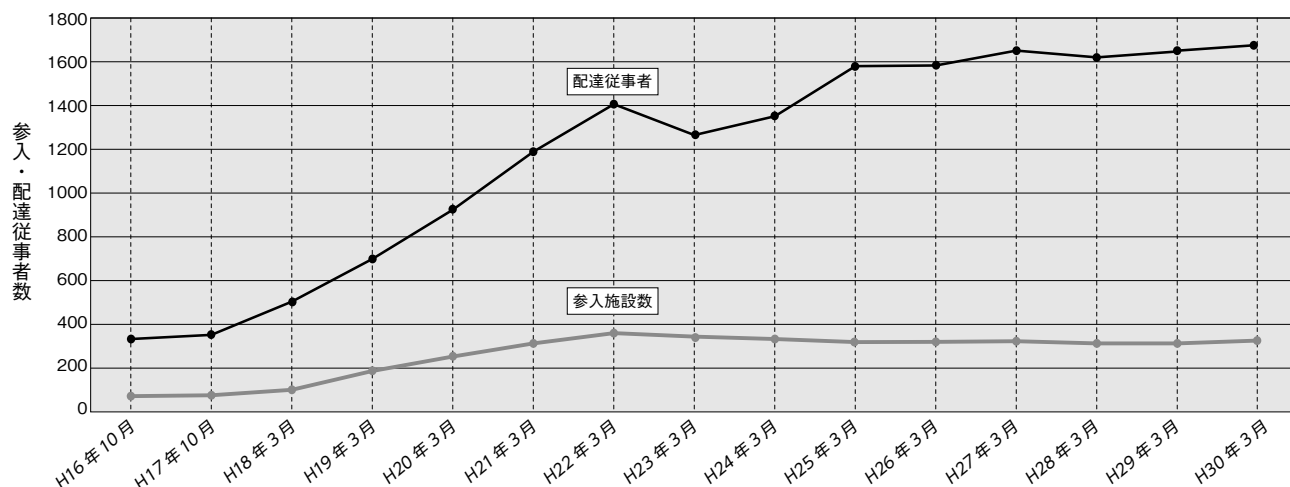
平成19年12月	障害者週間事業イベントとして、(財)ナイスハート基金と東北福祉大学共催、宮城県仙台市後援によるクロネコメール便配達特別報告会(13名のメイトさんが発表)「私を、待っていてくれる人がいます。」を開催。報告会のお知らせが、11月28日朝刊・毎日新聞みやぎワイドに、河北新報12月12日朝刊に内容が掲載される。32ヵ所の施設・作業所(秋田・福島・宮城)から約100名が参加した。
平成19年11月	「メール便配達リーフレット」リニューアル版発刊。沖縄、大阪、東京、青森の施設・作業所のメイトさん8名を紹介。
平成19年8月	ヤマト運輸(株)が発刊するメイトさんの啓発広報誌「メイト通信」に障がいのあるメイトさんの配達状況を毎号紹介。
平成19年8月	(社団)日本フィランソロピー協会より、ヤマト運輸の社会貢献活動とメール便配達事業の経緯と活動について取材を受ける。機関誌「10・11月合併号月刊フィランソロピー」に紹介される。
平成19年7月	配達従事者1,004名。事業開始から34ヵ月で1,000名を達成。
平成19年6月	事業マニュアル、小冊子「参入の手引き」作成。メール便営業部と連携をとり社内関係者に3,300部配布。
平成19年4月	月刊誌「マリ・クレール」5月号特別付録(企業のCSR活動に焦点をあてた特集)にメール便配達事業が紹介される。
平成19年3月	「配達事例集」リニューアル版発刊。全国11ヵ所の施設・作業所の配達状況を紹介。
平成19年2月	イギリスのソーシャル・ファーム「リンケージ・コミュニティー・トラスト」で働く知的障がい者5名とディレクター8名の総勢13名が日本の障がい者の実情を知るために来日。クロネコメール便の配達現場を視察。
平成18年12月	「障害者白書」別冊版、内閣府発行啓発広報誌「それぞれの願い」に本事業を紹介する。障害者週間(12月3日～12月9日)期間中に、各地で開催されたシンポジウム会場において配布された。(「障害者白書」テーマ、「共生する社会」について障がいのある方々ご本人や、その支援されている人々の声を取り纏めた冊子)
平成18年 10月10日～12日	東京都福祉保健局・産業労働局との共催「東京の障がい者雇用・就労の新たな展開を考える」と題したシンポジウムおよび東京都第三セクター企業2社とのコラボ企画展示を開催。(ポスターパネル13点の展示と配達風景をビデオ上映)
平成17年12月	障害者週間事業として、「クロネコメール便配達ポスター展」をスワンカフェ赤坂店で開催。 ・フォトグラファー平間至氏撮影によるポスターパネル13点を展示し、障がいのある人達の前向きな働く姿を紹介。 ・施設・作業所のメイトさん8名のポートレートと、事業参入全国マップを掲載した「メール便リーフレット」を配布。 (2008年12月現在 14,000部配布)
平成17年10月	参入施設・作業所の“地域で働く人々の姿”を網羅した「配達カルテ」を作成。社内外に向けた事業推進のための効果的な啓発・広報資料として活用。

平成17年7月	啓発広報資料として、各障がい種別全国7ヵ所の施設・作業所の配達状況を紹介した「配達事例集」を作成。 (2008年12月現在 16,000部配布)
平成17年3月	社内外からの事業問合わせ増加に伴い、事業案内を一元化するため、財団HPに事業案内を掲載。
平成17年2月	軽四輪車で配達を希望する施設を対象に、ヤマトリースのご協力をいただき財団特別料率を設定し、軽商用リース車の斡旋をスタート。
平成16年10月	民間支援四団体加盟の全施設・作業所(3,520ヵ所)に「クロネコメール便配達事業」マニュアルを配布。 WIJメール便委員会発足(日本セルプ・ゼンコロ・社会福祉協議会・きょうされんの四団体)

■進捗状況補足資料

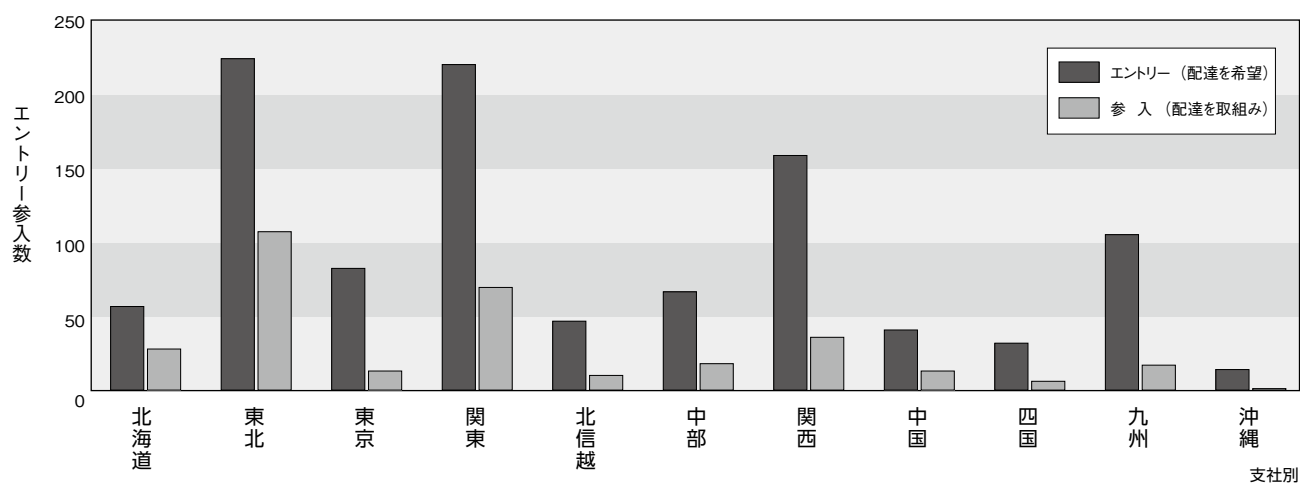
平成 30 年 3 月 31 日 現在 (図表 1・2・3)

図表 1. 参入施設数/配達従事者数推移 320施設/1,680名

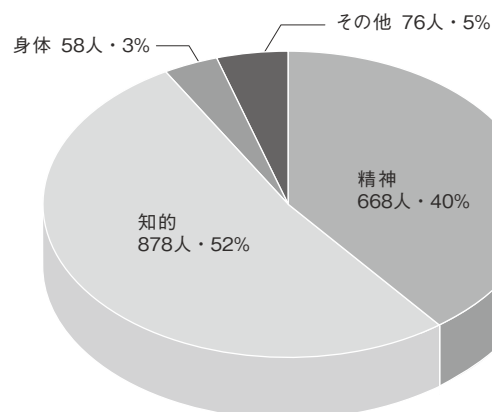


※平成 22 年 7 月以降、集計方法を財団支部の報告から参入施設からの報告に変更したため実績に差が生じています。

図表 2. 全国支社別 エントリー/参入状況 1,055施設/320施設



図表 3. 障がい別配達従事者人数とその割合



『障がい者のクロネコDM便配達事業』 参入施設一覧 320施設

施設・事業所名	住所	施設・事業所名	住所
わーく・ひまわり	北海道札幌市豊平区	ほっとワークはぴくる	青森県上北郡野辺地町
はんど&はんど	北海道札幌市手稲区	夢香房すてっぷ	青森県青森市
自由工房	北海道札幌市手稲区	ふうあの家	青森県青森市
ヴォーグ	北海道札幌市清田区	青森うとうの園	青森県青森市
いちもく神居	北海道旭川市	柿の木苑	青森県八戸市
すまいる	北海道旭川市	田面木の家	青森県八戸市
ライフサポート QIRA	北海道虻田郡ニセコ町	エンジェルハウス	青森県八戸市
ワークステーション輝	北海道虻田郡倶知安町	NPO 法人太陽の園	秋田県横手市
前田の家	北海道岩内郡共和町	ひまわり社	秋田県横手市
オフィスきらり	北海道釧路市	出発の家	秋田県鹿角市
はばたき	北海道釧路市	NPO 法人鹿角親交会	秋田県鹿角市
やまびこ	北海道恵庭市	いなほ作業所	秋田県秋田市
マイウエイ	北海道小樽市	ドリームカンパニーあゆみ	秋田県秋田市
わーくさぼーと のどか	北海道上川郡比布町	サンあんぐる	秋田県仙北郡美郷町
青空	北海道深川市	愛仙	秋田県仙北市
ハートフルネットワークほほえみ	北海道千歳市	工房 J O Y さあくる	秋田県大館市
ゆうび	北海道千歳市	ふれあい作業所	秋田県大仙市
きずな	北海道帯広市	ほっぺ	秋田県大仙市
トリノ	北海道帯広市	サンワーク大曲	秋田県大仙市
就労継続支援事業所大作 帯広	北海道帯広市	男鹿浜辺の里	秋田県男鹿市
クローバー	北海道帯広市	コスモス	秋田県能代市
クローバーベリー	北海道河東郡音更町	根分け会	秋田県由利本荘市
就労継続支援事業所大作 本別町	北海道中川郡本別町	千厩ワークプラザ	岩手県一関市
若草友の会共同作業所	北海道滝川市	つくし共同作業所	岩手県釜石市
コミュニティハウスしずない	北海道日高郡新ひだか町	りんりん舎	岩手県岩手郡滝沢村
夕陽が丘	北海道函館市	さくら製作所	岩手県紫波郡紫波町
おはよう	北海道函館市	あさあけの園	岩手県紫波郡矢巾町
美幌地域就労支援センター	北海道網走郡美幌町	杜の家	岩手県盛岡市
青松園	青森県五所川原市	盛岡杉生園	岩手県盛岡市
創	青森県五所川原市	となんカナン	岩手県盛岡市
ワークハウスとわだ	青森県十和田市	のびやか丸	岩手県盛岡市
ベア・ハウス	青森県上北郡おいらせ町	生生学舎アダージョ	岩手県盛岡市

施設・事業所名	住所	施設・事業所名	住所
太田の園	岩手県盛岡市	ステップアップ霞城	山形県山形市
ぐるんぱ	岩手県盛岡市	メディアかがやき	山形県山形市
ゆうき社	岩手県大船渡市	ハーモニー	山形県山形市
ポパイの家	岩手県八幡平市	グループ未知	山形県山形市
いわて共生会あけぼの	岩手県北上市	ワークランドベにばな	山形県山形市
はーとらんど	岩手県北上市	まある	山形県山形市
ワークハウス アトリエ Sun	岩手県宮古市	デイサポートセンターじゃんぷ	山形県山形市
HOPE GARDEN 気仙沼	宮城県気仙沼市	あらた	山形県酒田市
とれいん	宮城県気仙沼市	シャイニー新庄升形	山形県新庄市
七ヶ浜町あさひ園	宮城県宮城郡七ヶ浜町	手づくりクッキーおからや	山形県鶴岡市
コスモス	宮城県石巻市	大けやきの家	山形県東根市
こころ・さをり	宮城県石巻市	ひまわり園	山形県東田川郡庄内町
みんなの夢広場	宮城県石巻市	ひまわり南陽	山形県南陽市
桜・さくら	宮城県石巻市	フラワーコート米沢	山形県米沢市
しじゅうからアットワーク	宮城県仙台市宮城野区	すてっぷ	山形県米沢市
ハートライフせんだい 創働舎	宮城県仙台市宮城野区	むすび	山形県寒河江市
ワークつるがや	宮城県仙台市宮城野区	わっしょい！	山形県村山市
わ・は・わ若林	宮城県仙台市若林区	チャオ	福島県いわき市
わ・は・わ沖野	宮城県仙台市若林区	福祉ハウスボネール	福島県伊達市
L i n k s 五橋	宮城県仙台市若林区	輪楽創	福島県伊達郡桑折町
こころや	宮城県仙台市青葉区	ゆうゆうハウス	福島県河沼郡会津坂下町
わ・は・わ広瀬	宮城県仙台市青葉区	レーベン	福島県会津若松市
つなぎっこ	宮城県仙台市青葉区	ほっとハウスやすらぎ	福島県会津若松市
ぱーとなー	宮城県仙台市青葉区	ペンギン東台	福島県郡山市
みんなの広場・工房きまち	宮城県仙台市青葉区	ペンギン村共同作業所	福島県郡山市
ハート米夢仙台青葉事業所	宮城県仙台市青葉区	キャロット八山田	福島県郡山市
ほっとスペース歩歩	宮城県仙台市泉区	工房 アミーコ	福島県須賀川市
アトリエ・ソキウス	宮城県仙台市泉区	ひまわりの家	福島県相馬市
みどり工房永和台	宮城県仙台市泉区	スマイルセンター	福島県相馬市
ポッケの森	宮城県仙台市太白区	みはる工房	福島県田村郡三春町
工房けやき	宮城県仙台市太白区	ほっと悠 Ms	福島県南相馬市原町区
のぞみ園	宮城県多賀城市	きぼうのあさがお	福島県南相馬市鹿島区
工房パルコ	宮城県大崎市	なごみの家	福島県白河市
わ・は・わ美里	宮城県遠田郡美里町	ゆ〜もあ〜と	福島県福島市
ビッグチャオ	山形県山形市	SWELL・IN・FUKUSHIMA	福島県福島市

施設・事業所名	住所	施設・事業所名	住所
あさひスマイル	福島県福島市	ひなたぼっこ	埼玉県熊谷市
Work - SCS 笹谷	福島県福島市	コスモス共同作業所	埼玉県鴻巣市
来夢	東京都北区	ゆめきた工房	埼玉県坂戸市
ことのは修養館	東京都江戸川区	ジョブサポートはぶたえ	埼玉県深谷市
N a v i o けやき	東京都世田谷区	フレンドリー	埼玉県深谷市
しごとも	東京都世田谷区	ワークセンターせんば	埼玉県川越市
千草企画	東京都世田谷区	サルース	埼玉県川越市
S U N	東京都目黒区	鶴ヶ島ゆめの園	埼玉県鶴ヶ島市
すまいる・フォレスト	東京都練馬区	ぼれぼれ	千葉県市原市
すきっぷ	東京都三鷹市	まあぶるひろ	千葉県千葉市花見川区
結の会	東京都八王子市	ワークホーム海の実	千葉県千葉市中央区
千川作業所	東京都武蔵野市	フロンティア	千葉県千葉市中央区
MEIMI・CLUB	東京都東久留米市	ワークス未来千葉	千葉県千葉市美浜区
飛翔クラブ	東京都東村山市	たけの子工房	千葉県千葉市緑区
共同作業所ふれあい	茨城県ひたちなか市	就労サポートリーブ	千葉県袖ヶ浦市
はあとぼっぼ	茨城県坂東市	hana	千葉県木更津市
らしん盤	茨城県取手市	イエローハート	千葉県我孫子市
ゆきわりそう	茨城県水戸市	i 工房	千葉県我孫子市
やまびこ	茨城県水戸市	かんばす	千葉県船橋市
けやきの家	茨城県石岡市	アーモ	千葉県船橋市
第2けやき作業所	栃木県芳賀郡芳賀町	カレーサ	千葉県船橋市
いっすんぼうし	栃木県小山市	生活工房こだま	千葉県柏市
県東ライフサポートセンター・真岡	栃木県真岡市	ぼけっと	千葉県白井市
あざみ	群馬県前橋市	すずらん	千葉県八千代市
伊勢崎市桑の実福祉作業所	群馬県伊勢崎市	ハンディジャンプ	神奈川県横浜市磯子区
若草作業所	群馬県館林市	シャロームの家	神奈川県横浜市磯子区
あゆみ舎	埼玉県さいたま市大宮区	エンジョイメント	神奈川県横浜市磯子区
つばさ共同作業所	埼玉県さいたま市中央区	いぶきの風	神奈川県横浜市戸塚区
生活支援センターこしがや	埼玉県越谷市	りんごの木	神奈川県横浜市戸塚区
志木市精神保健福祉をすすめる会	埼玉県志木市	フラワーロード	神奈川県横浜市港南区
ゆりのき支援センター	埼玉県春日部市	いろえんぴつ	神奈川県横浜市港北区
オハナ	埼玉県春日部市	ひとつの芽	神奈川県横浜市泉区
わっくす	埼玉県春日部市	エアリアル	神奈川県海老名市
ライトハウス	埼玉県ふじみ野市	青い麦の家	神奈川県鎌倉市
熊谷たんぽぽ	埼玉県熊谷市	茅ヶ崎第二ワーキングハウス	神奈川県茅ヶ崎市

施設・事業所名	住所	施設・事業所名	住所
トライフィールドわーくあーつ	神奈川県厚木市	アーム	愛知県豊田市
セルブきたかせ	神奈川県川崎市幸区	トレーニングスペース リンク	愛知県半田市
つばさ	神奈川県川崎市高津区	ライム	愛知県大府市
オリーブの木	神奈川県川崎市中原区	やすらぎの家	愛知県新城市
第2 けやき作業所	神奈川県相模原市南区	笑い太鼓岡崎	愛知県岡崎市
ありのまま舎	神奈川県相模原市緑区	垂坂山ブルーミング	三重県四日市市
ハートピア湘南	神奈川県藤沢市	サポートセンターあいぶろ	三重県四日市市
第3 藤沢ひまわり	神奈川県藤沢市	グリーンリーフ	岐阜県岐阜市
るる湘南	神奈川県藤沢市	ワークセンターひびき	大阪府東大阪市
フリースペース ステラ・ポラーレ	神奈川県藤沢市	オリーブ	大阪府大阪市平野区
スイートベリー KATUYAMA	山梨県南都留郡	手琴堂	大阪府大阪市都島区
南アルプス市松の実作業所	山梨県南アルプス市	ニコサービス	大阪府大阪市城東区
樫の実作業所	山梨県甲府市	のぞみ共同作業所	大阪府吹田市
すみよし生活支援センター	山梨県甲府市	第三工房ヒューマン	大阪府吹田市
むつみの家	山梨県都留市	ドルフィンハート・ドルフィンアイ	大阪府堺市堺区
阿賀野市さくらの会作業所	新潟県阿賀野市	高槻ワーク工房	大阪府高槻市
手楽来家	新潟県新潟市江南区	ステラ守口	大阪府守口市
和工房	新潟県新潟市西区	交流広場ライフアート共同作業所	京都府京都市東山区
豆の木	新潟県新潟市西区	S A P ふっとぷりんつ	京都府京田辺市
希望の家	新潟県長岡市	かがやきの杜	京都府京丹後市
希望の里つばさ	長野県岡谷市	たむたむ荘	奈良県奈良市
ワンステップ	長野県松本市	さわやぎ	奈良県奈良市
エコーンファミリー	長野県長野市	来夢 green	奈良県奈良市
くろべ工房	富山県黒部市	もりの実事業所	奈良県北葛城郡広陵町
ゆめさばーとらいちょう	富山県富山市	たんぼぼ作業所	和歌山県紀の川市
ネットワークひこばえ	静岡県静岡市葵区	岩出サンワーク	和歌山県岩出市
ウィン作業所	静岡県静岡市葵区	すまいる・フレンズ	兵庫県神戸市須磨区
ラポール・チャクラ	静岡県静岡市駿河区	たすけあい	兵庫県神戸市須磨区
交流広場ライフアート	愛知県名古屋市中村区	御影倶楽部	兵庫県神戸市東灘区
アネモネ	愛知県名古屋市中村区	E n T r y	兵庫県神戸市垂水区
おちゃや	愛知県名古屋市中村区	ひまわり作業所	兵庫県淡路市
さくらんぼ	愛知県名古屋市中川区	アミアミ	兵庫県洲本市
ファンタジスタ名古屋	愛知県名古屋市中川区	ぐろ〜りあ	兵庫県尼崎市
就労・コミュニティセンター Abbey	愛知県名古屋市中村区	共同作業所ふるーる	兵庫県尼崎市
のぞみ	愛知県名古屋市中村区	雑居工房	兵庫県尼崎市

施設・事業所名	住所
出愛いの里	兵庫県姫路市
しらさぎ作業所	兵庫県姫路市
自立の家きらら	兵庫県宝塚市
かるべの郷ドリームワークス	兵庫県養父市
T O D A Y	兵庫県三木市
西宮作業所クローバー	兵庫県西宮市
てんとうか	兵庫県西宮市
アミル甲子園口	兵庫県西宮市
元気アップみのり作業所	兵庫県相生市
手毬の里 虹	岡山県玉野市
ゆめの木・わかば	広島県福山市
三次共同作業所	広島県三次市
しまなみ瀬戸田夢工房	広島県尾道市
オレンジ作業所	広島県尾道市
あいあい作業所	広島県廿日市市
ジョブサポートぽかぽか	広島県呉市
さわやか工房	山口県周南市
ワークステーション大蔵	山口県山口市
ステップあそかの園	山口県山口市
ボン・シャンス	鳥取県倉吉市
コミュニティーハウス楽	鳥取県倉吉市
川本ワークス	島根県邑智郡川本町
かけはし	香川県坂出市
どんどこどん	徳島県坂野郡松茂町
ワークセンタースマイル	徳島県阿波市
第2 あおぞら	高知県高知市
いろえんぴつ	愛媛県松山市
ワークハウス陸美	愛媛県伊予市
さるびあ作業所	福岡県筑紫野市
ケアポートがんぎだん	福岡県福岡市西区
夢ぼけっと	福岡県福岡市南区
はあもにい	福岡県柳川市
コリアンダーの家	長崎県長崎市
どんぐり村	熊本県上天草市
らぷらんどカフェ	熊本県熊本市中央区

施設・事業所名	住所
ピープルステーション	大分県大分市
どんぐりの家	大分県大分市
ワーク大分すみれ会	大分県大分市
ちちんぷいぷいあけぼの	大分県津久見市
べっぶ優ゆう作業所	大分県別府市
メロディー	大分県別府市
はまゆう園多機能型恒富事業所	宮崎県延岡市
ななえ福祉作業所	宮崎県都城市
ひなこみち	宮崎県日南市
S U Nはぁと	宮崎県宮崎市
キャンプグリーンヒル	沖縄県うるま市

■ 2017 年度 支社別「障がい者のクロネコ DM 便配達実績」時系列集計表

	報告年月	事業参入 施設数	月次報告入 力済施設数	入力率			クロネコ DM 便配達従事者人数			クロネコ DM 便配達冊数			1 施設 1 日当り配達冊数		
				実績	前年	前年差	実績	前年	前年差	実績	前年	前年比	実績	前年	前年差
北海道	2017 年 4 月	24	24	100.0%	100.0%	0.0%	111	68	43	29,792	25,222	118.1%	63.0	67.3	-4.3
	5 月	24	24	100.0%	100.0%	0.0%	109	65	44	27,422	23,772	115.4%	58.6	64.8	-6.2
	6 月	24	24	100.0%	100.0%	0.0%	113	64	49	31,040	26,330	117.9%	63.1	67.3	-4.2
	7 月	24	24	100.0%	100.0%	0.0%	116	69	47	26,940	23,024	117.0%	59.1	58.7	0.4
	8 月	24	24	100.0%	100.0%	0.0%	113	69	44	26,947	22,187	121.5%	60.1	55.5	4.6
	9 月	25	25	100.0%	100.0%	0.0%	133	86	47	34,527	31,499	109.6%	73.0	78.4	-5.4
	10 月	25	25	100.0%	100.0%	0.0%	150	88	62	35,671	30,909	115.4%	70.5	77.1	-6.6
	11 月	26	26	100.0%	100.0%	0.0%	148	93	55	30,122	24,777	121.6%	62.1	60.0	2.1
	12 月	26	26	100.0%	100.0%	0.0%	151	92	59	28,720	24,929	115.2%	58.6	55.9	2.7
	2018 年 1 月	26	26	100.0%	100.0%	0.0%	151	107	44	30,282	27,596	109.7%	62.1	64.2	-2.1
	2 月	28	28	100.0%	100.0%	0.0%	147	105	42	32,043	29,668	108.0%	68.0	68.0	0.0
	3 月	28	28	100.0%	100.0%	0.0%	145	105	40	35,095	27,682	126.8%	64.3	59.0	5.3
東北	2017 年 4 月	103	103	100.0%	100.0%	0.0%	529	520	9	123,681	112,400	110.0%	72.2	68.0	4.2
	5 月	103	103	100.0%	100.0%	0.0%	546	515	31	126,764	113,288	111.9%	71.6	72.0	-0.4
	6 月	103	103	100.0%	100.0%	0.0%	544	509	35	132,655	126,536	104.8%	70.7	69.4	1.3
	7 月	106	106	100.0%	100.0%	0.0%	546	513	33	127,089	109,027	116.6%	71.4	65.3	6.1
	8 月	106	106	100.0%	100.0%	0.0%	521	500	21	151,146	102,149	148.0%	75.2	62.5	12.7
	9 月	105	105	100.0%	100.0%	0.0%	581	519	62	135,028	126,541	106.7%	76.2	74.0	2.2
	10 月	106	106	100.0%	100.0%	0.0%	562	522	40	134,881	132,046	102.1%	72.5	78.2	-5.7
	11 月	106	106	100.0%	100.0%	0.0%	548	537	11	132,242	128,223	103.1%	72.9	74.0	-1.1
	12 月	108	108	100.0%	100.0%	0.0%	532	539	-7	112,341	106,459	105.5%	64.3	62.7	1.6
	2018 年 1 月	108	108	100.0%	100.0%	0.0%	525	515	10	124,859	115,375	108.2%	73.8	71.4	2.4
	2 月	108	108	100.0%	100.0%	0.0%	529	517	12	164,443	125,782	130.7%	83.3	72.6	10.7
	3 月	108	108	100.0%	100.0%	0.0%	560	507	53	136,651	133,657	102.2%	71.6	70.2	1.4
東京都	2017 年 4 月	14	14	100.0%	87.5%	12.5%	91	62	29	48,699	45,703	106.6%	202.1	213.6	-11.5
	5 月	14	13	92.9%	100.0%	-7.1%	73	86	-13	41,327	43,819	94.3%	187.0	184.1	2.9
	6 月	14	13	92.9%	87.5%	5.4%	68	61	7	46,171	44,191	104.5%	191.6	191.3	0.3
	7 月	14	12	85.7%	92.9%	-7.1%	67	66	1	42,727	42,561	100.4%	191.6	188.3	3.3
	8 月	14	12	85.7%	100.0%	-14.3%	68	87	-19	36,801	40,445	91.0%	177.8	172.1	5.7
	9 月	14	11	78.6%	93.3%	-14.8%	66	87	-21	41,815	49,515	84.4%	215.5	208.9	6.6
	10 月	14	11	78.6%	93.3%	-14.8%	66	83	-17	42,633	50,598	84.3%	235.5	222.9	12.6
	11 月	14	12	85.7%	92.9%	-7.1%	70	77	-7	43,554	45,964	94.8%	225.7	201.6	24.1
	12 月	14	12	85.7%	92.9%	-7.1%	71	73	-2	42,346	43,699	96.9%	220.6	194.2	26.4
	2018 年 1 月	14	12	85.7%	78.6%	7.1%	72	55	17	38,092	41,424	92.0%	217.7	216.9	0.8
	2 月	13	12	92.3%	85.7%	6.6%	73	71	2	35,653	41,203	86.5%	195.9	209.2	-13.3
	3 月	13	13	100.0%	100.0%	0.0%	84	87	-3	45,003	52,211	86.2%	196.5	208.8	-12.3
関東	2017 年 4 月	73	67	91.8%	100.0%	-8.2%	453	526	-73	88,911	93,272	95.3%	76.0	69.8	6.2
	5 月	73	69	94.5%	100.0%	-5.5%	464	523	-59	91,007	88,627	102.7%	77.1	70.6	6.5
	6 月	72	66	91.7%	98.7%	-7.0%	437	506	-69	95,395	100,915	94.5%	76.3	71.5	4.8
	7 月	71	66	93.0%	98.7%	-5.7%	458	498	-40	82,673	77,977	106.0%	71.2	61.0	10.2
	8 月	71	69	97.2%	98.7%	-1.5%	467	497	-30	79,345	73,470	108.0%	67.9	59.3	8.6
	9 月	71	64	90.1%	96.1%	-5.9%	447	491	-44	98,102	83,393	117.6%	89.4	66.9	22.5
	10 月	71	71	100.0%	98.6%	1.4%	511	480	31	112,613	92,036	122.4%	89.9	73.7	16.2
	11 月	71	71	100.0%	98.6%	1.4%	508	489	19	94,170	108,754	86.6%	77.7	85.9	-8.2
	12 月	72	72	100.0%	98.6%	1.4%	510	492	18	80,427	78,986	101.8%	68.1	67.9	0.2
	2018 年 1 月	72	71	98.6%	100.0%	-1.4%	507	494	13	82,171	79,405	103.5%	74.8	67.4	7.4
	2 月	72	71	98.6%	100.0%	-1.4%	489	505	-16	82,596	106,013	77.9%	71.9	82.5	-10.6
	3 月	70	68	97.1%	93.2%	3.9%	457	442	15	84,763	96,265	88.1%	69.6	76.0	-6.4
北信越	2017 年 4 月	10	8	80.0%	84.6%	-4.6%	34	34	0	17,487	11,014	158.8%	115.8	62.9	52.9
	5 月	10	10	100.0%	92.3%	7.7%	39	43	-4	19,286	17,283	111.6%	99.4	92.4	7.0
	6 月	10	10	100.0%	92.3%	7.7%	40	39	1	19,818	21,003	94.4%	99.6	101.5	-1.9
	7 月	10	10	100.0%	84.6%	15.4%	37	42	-5	19,391	15,238	127.3%	102.6	85.6	17.0
	8 月	10	9	90.0%	76.9%	13.1%	36	27	9	16,579	13,877	119.5%	96.4	88.4	8.0
	9 月	10	9	90.0%	76.9%	13.1%	34	27	7	20,066	18,614	107.8%	116.0	117.1	-1.1
	10 月	10	9	90.0%	100.0%	-10.0%	31	41	-10	19,300	21,139	91.3%	110.3	113.0	-2.7
	11 月	10	9	90.0%	91.7%	-1.7%	34	38	-4	19,768	17,947	110.1%	118.4	102.6	15.8
	12 月	10	9	90.0%	83.3%	6.7%	36	26	10	16,323	14,080	115.9%	96.6	94.5	2.1
	2018 年 1 月	10	8	80.0%	100.0%	-20.0%	32	44	-12	18,177	18,503	98.2%	130.8	103.9	26.9
	2 月	10	8	80.0%	100.0%	-20.0%	34	35	-1	15,195	19,772	76.9%	119.6	102.4	17.2
	3 月	10	10	100.0%	100.0%	0.0%	38	41	-3	19,609	20,978	93.5%	108.3	104.9	3.4
中部	2017 年 4 月	18	12	66.7%	75.0%	-8.3%	81	83	-2	11,557	15,577	74.2%	54.3	69.2	-14.9
	5 月	18	13	72.2%	75.0%	-2.8%	96	88	8	13,502	15,594	86.6%	55.3	71.5	-16.2
	6 月	18	13	72.2%	81.3%	-9.0%	84	84	0	14,988	15,943	94.0%	59.0	65.3	-6.3
	7 月	18	12	66.7%	75.0%	-8.3%	66	78	-12	12,317	15,412	79.9%	54.7	67.6	-12.9
	8 月	18	14	77.8%	68.8%	9.0%	83	73	10	11,545	11,579	99.7%	46.4	66.2	-19.8
	9 月	18	13	72.2%	68.8%	3.5%	47	75	-28	13,763	14,201	96.9%	55.5	73.2	-17.7
	10 月	18	14	77.8%	68.8%	9.0%	82	76	6	15,086	13,390	112.7%	57.4	68.3	-10.9
	11 月	18	13	72.2%	72.2%	0.0%	63	86	-23	12,284	15,475	79.4%	53.2	64.5	-11.3
	12 月	18	13	72.2%	66.7%	5.6%	61	84	-23	10,484	12,873	81.4%	45.8	60.7	-14.9
	2018 年 1 月	18	13	72.2%	66.7%	5.6%	65	69	-4	9,988	10,903	91.6%	45.6	51.7	-6.1
	2 月	18	14	77.8%	66.7%	11.1%	87	68	19	14,180	11,375	124.7%	59.1	50.8	8.3
	3 月	18	14	77.8%	83.3%	-5.6%	85	105	-20	15,520	17,450	88.9%	61.3	57.6	3.7

■ 2017 年度 支社別「障がい者のクロネコ DM 便配達実績」時系列集計表

	報告年月	事業参入 施設数	月次報告入 力済施設数	入力率			クロネコ DM 便配達従事者人数			クロネコ DM 便配達冊数			1 施設 1 日当り配達冊数		
				実績	前年	前年差	実績	前年	前年差	実績	前年	前年比	実績	前年	前年差
関 西	2017 年 4 月	35	27	77.1%	84.0%	-6.9%	185	127	58	42,720	32,772	130.4%	92.1	88.1	4.0
	5 月	36	27	75.0%	80.0%	-5.0%	165	120	45	34,222	30,572	111.9%	69.3	85.4	-16.1
	6 月	36	28	77.8%	84.0%	-6.2%	160	118	42	39,937	34,739	115.0%	75.9	86.0	-10.1
	7 月	36	31	86.1%	84.0%	2.1%	185	129	56	42,764	31,830	134.4%	77.2	81.6	-4.4
	8 月	36	30	83.3%	80.0%	3.3%	179	119	60	37,888	28,212	134.3%	71.6	76.9	-5.3
	9 月	36	32	88.9%	83.3%	5.6%	202	115	87	48,149	35,070	137.3%	83.3	104.7	-21.4
	10 月	36	32	88.9%	88.0%	0.9%	185	134	51	48,405	39,293	123.2%	81.9	97.7	-15.8
	11 月	36	29	80.6%	84.6%	-4.1%	169	131	38	41,350	50,943	81.2%	79.1	126.4	-47.3
	12 月	36	30	83.3%	80.8%	2.6%	186	110	76	38,015	42,144	90.2%	70.5	115.5	-45.0
	2018 年 1 月	36	32	88.9%	73.1%	15.8%	194	127	67	39,234	42,495	92.3%	72.7	133.6	-60.9
	2 月	36	31	86.1%	84.6%	1.5%	193	128	65	39,288	45,491	86.4%	74.0	115.8	-41.8
	3 月	36	26	72.2%	87.9%	-15.7%	149	187	-38	38,463	50,490	76.2%	79.6	93.0	-13.4
中 国	2017 年 4 月	13	12	92.3%	84.6%	7.7%	58	67	-9	31,933	25,557	124.9%	143.8	148.6	-4.8
	5 月	13	12	92.3%	84.6%	7.7%	57	62	-5	30,979	28,647	108.1%	144.1	148.4	-4.3
	6 月	13	13	100.0%	92.3%	7.7%	71	67	4	35,913	31,845	112.8%	135.0	127.9	7.1
	7 月	13	11	84.6%	100.0%	-15.4%	58	67	-9	24,854	29,056	85.5%	128.8	122.6	6.2
	8 月	13	12	92.3%	100.0%	-7.7%	52	68	-16	26,500	28,140	94.2%	132.5	118.2	14.3
	9 月	13	12	92.3%	100.0%	-7.7%	52	71	-19	30,189	33,431	90.3%	146.5	138.7	7.8
	10 月	13	11	84.6%	92.3%	-7.7%	55	68	-13	33,163	38,832	85.4%	165.8	175.7	-9.9
	11 月	13	13	100.0%	84.6%	15.4%	67	68	-1	32,443	32,618	99.5%	146.8	163.1	-16.3
	12 月	13	12	92.3%	92.3%	0.0%	56	68	-12	30,403	28,244	107.6%	144.8	133.2	11.6
	2018 年 1 月	13	12	92.3%	84.6%	7.7%	53	47	6	28,122	33,372	84.3%	149.6	185.4	-35.8
	2 月	13	13	100.0%	100.0%	0.0%	64	71	-7	26,940	33,335	80.8%	128.9	147.5	-18.6
	3 月	13	13	100.0%	100.0%	0.0%	67	71	-4	26,940	33,486	80.5%	118.7	128.8	-10.1
四 国	2017 年 4 月	6	6	100.0%	85.7%	14.3%	11	14	-3	5,206	5,305	98.1%	45.3	51.0	-5.7
	5 月	6	5	83.3%	100.0%	-16.7%	9	15	-6	4,864	4,427	109.9%	51.2	43.0	8.2
	6 月	6	5	83.3%	100.0%	-16.7%	9	14	-5	5,996	5,494	109.1%	78.9	47.0	31.9
	7 月	6	5	83.3%	85.7%	-2.4%	8	12	-4	5,175	4,500	115.0%	53.4	45.9	7.5
	8 月	6	5	83.3%	100.0%	-16.7%	9	13	-4	3,931	4,115	95.5%	43.7	37.4	6.3
	9 月	6	5	83.3%	100.0%	-16.7%	8	11	-3	5,321	5,353	99.4%	57.2	47.4	9.8
	10 月	6	5	83.3%	71.4%	11.9%	8	10	-2	4,644	3,741	124.1%	47.9	51.2	-3.3
	11 月	6	5	83.3%	100.0%	-16.7%	8	13	-5	4,251	4,784	88.9%	50.0	42.7	7.3
	12 月	6	4	66.7%	100.0%	-33.3%	7	13	-6	3,876	4,588	84.5%	46.1	40.6	5.5
	2018 年 1 月	6	4	66.7%	83.3%	-16.7%	7	9	-2	3,489	4,456	78.3%	44.7	46.9	-2.2
	2 月	6	4	66.7%	83.3%	-16.7%	7	11	-4	4,351	4,700	92.6%	53.7	52.2	1.5
	3 月	6	4	66.7%	100.0%	-33.3%	7	11	-4	4,286	4,969	86.3%	51.0	40.4	10.6
九 州	2017 年 4 月	17	17	100.0%	95.7%	4.3%	88	106	-18	45,387	49,082	92.5%	120.7	100.4	20.3
	5 月	17	17	100.0%	90.9%	9.1%	91	94	-3	41,120	38,831	105.9%	107.9	92.0	15.9
	6 月	17	17	100.0%	100.0%	0.0%	89	96	-7	46,083	49,518	93.1%	116.4	109.8	6.6
	7 月	17	17	100.0%	100.0%	0.0%	90	97	-7	40,554	42,287	95.9%	106.4	95.2	11.2
	8 月	17	17	100.0%	100.0%	0.0%	92	93	-1	37,018	40,278	91.9%	102.8	90.7	12.1
	9 月	17	16	94.1%	95.0%	-0.9%	85	88	-3	38,466	49,565	77.6%	112.5	122.1	-9.6
	10 月	17	17	100.0%	100.0%	0.0%	91	92	-1	43,277	54,413	79.5%	116.0	125.1	-9.1
	11 月	17	17	100.0%	100.0%	0.0%	89	90	-1	40,105	47,452	84.5%	110.2	109.1	1.1
	12 月	17	17	100.0%	100.0%	0.0%	92	92	0	38,339	46,410	82.6%	107.4	114.0	-6.6
	2018 年 1 月	17	17	100.0%	100.0%	0.0%	93	89	4	38,814	44,665	86.9%	106.0	123.0	-17.0
	2 月	17	16	94.1%	100.0%	-5.9%	68	89	-21	34,508	41,764	82.6%	103.0	116.7	-13.7
	3 月	17	16	94.1%	100.0%	-5.9%	86	89	-3	37,898	43,638	86.8%	100.0	109.6	-9.6
沖 縄	2017 年 4 月	1	1	100.0%	100.0%	0.0%	2	2	0	112	113	99.1%	5.9	5.7	0.2
	5 月	1	1	100.0%	0.0%	100.0%	2	0	2	111	0	-	6.5	-	-
	6 月	1	1	100.0%	100.0%	0.0%	2	2	0	153	113	135.4%	10.2	5.9	4.3
	7 月	1	1	100.0%	100.0%	0.0%	2	2	0	196	113	173.5%	12.3	5.4	6.9
	8 月	1	1	100.0%	100.0%	0.0%	2	2	0	140	115	121.7%	10.0	5.2	4.8
	9 月	1	1	100.0%	100.0%	0.0%	2	2	0	172	99	173.7%	11.5	5.0	6.5
	10 月	1	1	100.0%	100.0%	0.0%	2	2	0	155	111	139.6%	11.1	5.8	5.3
	11 月	1	1	100.0%	100.0%	0.0%	2	2	0	140	98	142.9%	8.8	5.4	3.4
	12 月	1	1	100.0%	100.0%	0.0%	2	2	0	227	161	141.0%	16.2	8.9	7.3
	2018 年 1 月	1	1	100.0%	100.0%	0.0%	2	2	0	305	160	190.6%	9.8	8.4	1.4
	2 月	1	1	100.0%	100.0%	0.0%	2	2	0	305	134	227.6%	9.8	7.1	2.7
	3 月	1	1	100.0%	100.0%	0.0%	2	2	0	72	134	53.7%	8.0	7.1	0.9
全 国	2017 年 4 月	314	291	92.7%	94.8%	-2.1%	1,643	1,609	34	445,485	416,017	107.1%	86.4	81.0	5.4
	5 月	315	294	93.3%	95.1%	-1.7%	1,651	1,611	40	430,604	404,860	106.4%	81.6	82.4	-0.8
	6 月	314	293	93.3%	96.1%	-2.8%	1,617	1,560	57	468,149	456,627	102.5%	83.7	82.3	1.4
	7 月	316	295	93.4%	95.7%	-2.4%	1,633	1,573	60	424,680	391,025	108.6%	80.5	75.8	4.7
	8 月	316	299	94.6%	95.4%	-0.8%	1,622	1,548	74	427,840	364,567	117.4%	78.5	72.6	5.9
	9 月	316	293	92.7%	94.4%	-1.7%	1,657	1,572	85	465,598	447,281	104.1%	89.7	88.3	1.4
	10 月	317	302	95.3%	95.7%	-0.5%	1,743	1,596	147	489,828	476,508	102.8%	88.9	93.5	-4.6
	11 月	318	302	95.0%	95.5%	-0.5%	1,706	1,624	82	450,429	477,035	94.4%	84.8	91.4	-6.6
	12 月	321	304	94.7%	94.8%	-0.1%	1,704	1,591	113	401,501	402,573	99.7%	77.0	80.4	-3.4
	2018 年 1 月	321	304	94.7%	93.8%	0.9%	1,701	1,558	143	413,533	418,354	98.8%	82.5	87.5	-5.0
	2 月	322	306	95.0%	95.8%	-0.8%	1,693	1,602	91	449,502	459,237	97.9%	84.3	89.1	-4.8
	3 月	320	301	94.1%	96.2%	-2.1%	1,680	1,647	33	444,300	480,960	92.4%	80.5	83.9	-3.4

2. 平成 29 年度収支決算報告書

貸 借 対 照 表

平成 30 年 3 月 31 日現在
(平成 29 年度)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	72,545,563	13,307,006	59,238,557
現金	398,100	86,120	311,980
普通預金	72,147,463	13,220,886	58,926,577
流 動 資 産 合 計	72,545,563	13,307,006	59,238,557
2 固定資産			
基本財産			
投資有価証券（指定）	8,539,200,000	7,464,000,000	1,075,200,000
投資有価証券（一般）	945,983,250	876,786,750	69,196,500
計	9,485,183,250	8,340,786,750	1,144,396,500
基 本 財 産 合 計	9,485,183,250	8,340,786,750	1,144,396,500
固 定 資 産 合 計	9,485,183,250	8,340,786,750	1,144,396,500
資 産 合 計	9,557,728,813	8,354,093,756	1,203,635,057
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	1,613,702	5,511,352	-3,897,650
預り金	34,110	41,067	-6,957
短期借入金	0	15,000,000	-15,000,000
流 動 負 債 合 計	1,647,812	20,552,419	-18,904,607
負 債 合 計	1,647,812	20,552,419	-18,904,607
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
指定正味財産合計	8,539,200,000	7,464,000,000	1,075,200,000
（うち基本財産への充当額）	(8,539,200,000)	(7,464,000,000)	1,075,200,000
（うち特定財産への充当額）	()	()	()
2 一般正味財産			
一般正味財産合計	1,016,881,001	869,541,337	147,339,664
（うち基本財産への充当額）	(945,983,250)	(869,541,337)	76,441,913
（うち特定財産への充当額）	()	()	()
正 味 財 産 合 計	9,556,081,001	8,333,541,337	1,222,539,664
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	9,557,728,813	8,354,093,756	1,203,635,057

正味財産増減計算書

平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	96,549,300	100,125,200	△ 3,575,900
基本財産株式配当	96,549,300	100,125,200	△ 3,575,900
基本財産債券利息	0	0	0
受取会費	99,541,500	102,248,000	△ 2,706,500
賛助会費収入	99,541,500	102,248,000	△ 2,706,500
受取寄付金	62,956,840	56,413,180	6,543,660
寄付金収入	62,956,840	56,413,180	6,543,660
指定寄付金収入	0	0	0
雑収益	50,858	12,835	38,023
雑収入	50,858	12,835	38,023
経 常 収 益 計	259,098,498	258,799,215	299,283
(2) 経常費用			
事業費	218,735,517	227,089,229	△ 8,353,712
給料手当	12,287,009	12,849,051	△ 562,042
旅費交通費	10,598,756	11,651,111	△ 1,052,355
通信運搬費	23,386,437	25,544,393	△ 2,157,956
備品消耗品費	81,294	589,079	△ 507,785
図書印刷費	8,600,083	9,745,365	△ 1,145,282
事務室維持費	5,369,479	5,357,247	12,232
会議費	916,428	2,639,669	△ 1,723,241
支払手数料	234,468	742,320	△ 507,852
雑費	56,711	444,589	△ 387,878
奨学金支給	24,000,000	23,700,000	300,000
助成金支給	61,931,808	61,990,000	△ 58,192
震災支援費	0	7,151,800	△ 7,151,800
会場費	9,086,662	7,088,159	1,998,503
運営費	3,716,391	1,589,948	2,126,443
講師諸費	3,314,248	5,561,229	△ 2,246,981
ビデオ・パンフ作成費	8,546,934	6,241,890	2,305,044
システム費用	4,410,685	13,474,767	△ 9,064,082
就労支援費	4,480,000	4,480,000	0
委託費	10,052,210	14,106,288	△ 4,054,078
ホームページ運営費	939,600	907,200	32,400
贈呈費	25,426,314	8,210,124	17,216,190
共済分担金	1,300,000	3,025,000	△ 1,725,000

科 目	当年度	前年度	増 減
管理費	12,509,817	13,218,372	△ 708,555
給料手当	2,614,468	2,319,599	294,869
福利厚生費	261,856	274,245	△ 12,389
会議費	966,421	786,748	179,673
旅費交通費	1,073,808	1,462,604	△ 388,796
通信運搬費	1,720,496	2,421,399	△ 700,903
消耗什器備品費	237,536	317,302	△ 79,766
図書印刷費	3,024,687	3,264,425	△ 239,738
事務室維持費	1,195,607	1,171,171	24,436
事務機器賃借料	526,822	357,990	168,832
賦課金	230,000	311,540	△ 81,540
支払手数料	127,821	72,358	55,463
支払利息	76,482	141,971	△ 65,489
雑費	453,813	317,020	136,793
経 常 費 用 計	231,245,334	240,307,601	△ 9,062,267
評価損益等調整前当期経常増減額	27,853,164	18,491,614	9,361,550
基本財産評価損益等	119,112,000	32,139,450	86,972,550
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	374,500	0	374,500
評価損益等計	119,486,500	32,139,450	87,347,050
当期経常増減額	147,339,664	50,631,064	96,708,600
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
前期経費振替	0	1,500,000	△ 1,500,000
経常外収益計	0	1,500,000	△ 1,500,000
(2) 経常外費用			
有価証券償還差損	0	0	0
什器備品除却損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	1,500,000	△ 1,500,000
他会計振替額	0	△ 301,901	301,901
当期一般正味財産増減額	147,339,664	51,829,163	95,510,501
一般正味財産期首残高	869,541,337	817,712,174	51,829,163
一般正味財産期末残高	1,016,881,001	869,541,337	147,339,664
II 指定正味財産増減の部			
基本財産評価損益等	1,075,200,000	273,600,000	801,600,000
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	1,075,200,000	273,600,000	801,600,000
当期指定正味財産増減額	1,075,200,000	273,600,000	801,600,000
指定正味財産期首残高	7,464,000,000	7,190,400,000	273,600,000
指定正味財産期末残高	8,539,200,000	7,464,000,000	1,075,200,000
III 正味財産期末残高	9,556,081,001	8,333,541,337	1,222,539,664

正味財産増減計算書 内訳表

平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計							法人会計	合計
	公 1 助成事業	公 2 研修・育成	公 3 表彰事業	公 4 広報啓発等	公 5 震災助成	共通	小計		
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
基本財産運用益	0	0	0	0	0	77,239,440	77,239,440	19,309,860	96,549,300
基本財産株式配当	0	0	0	0	0	77,239,440	77,239,440	19,309,860	96,549,300
基本財産債券利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取会費	0	0	0	0	0	99,541,500	99,541,500	0	99,541,500
賛助会費収入	0	0	0	0	0	99,541,500	99,541,500	0	99,541,500
受取寄付金	0	0	0	0	0	62,956,840	62,956,840	0	62,956,840
寄付金収入	0	0	0	0	0	62,956,840	62,956,840	0	62,956,840
指定寄付金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑収益	0	0	0	0	0	50,858	50,858	0	50,858
雑収入	0	0	0	0	0	50,858	50,858	0	50,858
経常収益計	0	0	0	0	0	239,788,638	239,788,638	19,309,860	259,098,498
(2) 経常費用									
事業費	90,409,539	57,869,213	9,836,688	55,250,598	0	5,369,479	218,735,517		218,735,517
給料手当	2,209,292	5,985,157	1,983,903	2,108,657	0	0	12,287,009		12,287,009
旅費交通費	1,083,068	6,741,862	1,647,988	1,125,838	0	0	10,598,756		10,598,756
通信運搬費	60,596	1,705,779	18,306	21,601,756	0	0	23,386,437		23,386,437
備品消耗品費	0	57,338	12,096	11,860	0	0	81,294		81,294
図書印刷費	0	424,080	27,743	8,148,260	0	0	8,600,083		8,600,083
事務室維持費	0	0	0	0	0	5,369,479	5,369,479		5,369,479
会議費	231,472	510,713	174,243	0	0	0	916,428		916,428
支払手数料	136,188	61,128	5,832	31,320	0	0	234,468		234,468
雑費	0	9,473	0	47,238	0	0	56,711		56,711
奨学金支給	24,000,000	0	0	0	0	0	24,000,000		24,000,000
助成金支給	61,931,808	0	0	0	0	0	61,931,808		61,931,808
震災支援費	0	0	0	0	0	0	0		0
会場費	0	6,972,462	1,889,360	224,840	0	0	9,086,662		9,086,662
運営費	0	3,103,666	612,725	0	0	0	3,716,391		3,716,391
講師諸費	0	3,314,248	0	0	0	0	3,314,248		3,314,248
ビデオ・パンフ作成費	681,880	7,400,562	464,492	0	0	0	8,546,934		8,546,934
システム費用	64,435	4,346,250	0	0	0	0	4,410,685		4,410,685
就労支援費	0	4,480,000	0	0	0	0	4,480,000		4,480,000
委託費	10,800	546,480	0	9,494,930	0	0	10,052,210		10,052,210
ホームページ運営費	0	0	0	939,600	0	0	939,600		939,600
贈呈費	0	12,210,015	3,000,000	10,216,299	0	0	25,426,314		25,426,314
共済分担金	0	0	0	1,300,000	0	0	1,300,000		1,300,000
管理費								12,509,817	12,509,817
給料手当								2,614,468	2,614,468
福利厚生費								261,856	261,856
会議費								966,421	966,421
旅費交通費								1,073,808	1,073,808
通信運搬費								1,720,496	1,720,496
消耗什器備品費								237,536	237,536
図書印刷費								3,024,687	3,024,687
事務室維持費								1,195,607	1,195,607
事務機器賃借料								526,822	526,822
賦課金								230,000	230,000
支払手数料								127,821	127,821
支払利息								76,482	76,482
雑費								453,813	453,813
経常費用計	90,409,539	57,869,213	9,836,688	55,250,598	0	5,369,479	218,735,517	12,509,817	231,245,334

科 目	公益目的事業会計							法人会計	合計
	公 1 助成事業	公 2 研修・育成	公 3 表彰事業	公 4 広報啓発等	公 5 震災助成	共通	小計		
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 90,409,539	△ 57,869,213	△ 9,836,688	△ 55,250,598	0	234,419,159	21,053,121	6,800,043	27,853,164
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	119,112,000	119,112,000	0	119,112,000
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	374,500	374,500	0	374,500
評価損益等計	0	0	0	0	0	119,486,500	119,486,500	0	119,486,500
当期経常増減額	△ 90,409,539	△ 57,869,213	△ 9,836,688	△ 55,250,598	0	353,905,659	140,539,621	6,800,043	147,339,664
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
前期経費振替	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用									
有価証券償還差損	0	0	0	0	0	0	0	0	0
什器備品除却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 90,409,539	△ 57,869,213	△ 9,836,688	△ 55,250,598	0	353,905,659	140,539,621	6,800,043	147,339,664
一般正味財産期首残高	△ 355,660,164	△ 192,379,486	△ 31,360,243	△ 141,300,769	△ 7,152,988	1,520,279,797	792,426,147	77,115,190	869,541,337
一般正味財産期末残高	△ 446,069,703	△ 250,248,699	△ 41,196,931	△ 196,551,367	△ 7,152,988	1,874,185,456	932,965,768	83,915,233	1,016,881,001
Ⅱ 指定正味財産増減の部									
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	1,075,200,000	1,075,200,000	0	1,075,200,000
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	1,075,200,000	1,075,200,000	0	1,075,200,000
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	1,075,200,000	1,075,200,000	0	1,075,200,000
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	7,381,920,000	7,381,920,000	82,080,000	7,464,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	8,457,120,000	8,457,120,000	82,080,000	8,539,200,000
Ⅲ 正味財産期末残高	△ 446,069,703	△ 250,248,699	△ 41,196,931	△ 196,551,367	△ 7,152,988	10,331,305,456	9,390,085,768	165,995,233	9,556,081,001

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 計算書類は公益法人会計基準（平成 20 年 4 月 11 日、改正平成 21 年 10 月 16 日 内閣府公益認定等委員会）を適用している。
- (2) 有価証券の評価基準及び評価方法
 - 満期保有目的債券……償却原価法（定額法）
 - その他の有価証券
 - 時価のあるもの……決算日の市場価格等に基づく時価法
 - 時価のないもの……移動平均法による原価法
- (3) 固定資産の減価償却の方法
 - 有形固定資産……定率法
- (4) 消費税の会計処理
 - 税込み方式

2. 会計方針の変更 該当なし

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券（指定）	7,464,000,000	1,075,200,000	0	8,539,200,000
投資有価証券（一般）	876,786,750	119,112,000	49,915,500	945,983,250
小 計	8,340,786,750	1,194,312,000	49,915,500	9,485,183,250
特定資産	—	—	—	—
小 計	—	—	—	—
合 計	8,340,786,750	1,194,312,000	49,915,500	9,485,183,250

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。（単位：円）

科 目	当期末残高	（うち指定正味財） （産からの充当額）	（うち一般正味財） （産からの充当額）	（うち負債に対応） する額
基本財産				
投資有価証券（指定）	8,539,200,000	8,539,200,000	0	0
投資有価証券（一般）	945,983,250	0	945,983,250	0
小 計	9,485,183,250	8,539,200,000	945,983,250	0
特定資産	—	—	—	—
小 計	—	—	—	—
合 計	9,485,183,250	8,539,200,000	945,983,250	0

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

該当なし 重要性が希薄なため経費処理

6. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

7. 担保に供している資産

該当なし

8. 保証債務等の偶発債務

該当なし

9. 関連当事者との取引の内容

該当なし

10. 重要な後発事象

該当なし

財 産 目 録

平成 30 年 3 月 31 日 現在
(平成 29 年度)

(単位：円)

科 目	金 額	使用目的等
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	72,545,563	
現金	398,100	運転資金
普通預金	72,147,463	
みずほ銀行銀座中央支店 1	22,147,463	運転資金
みずほ銀行銀座中央支店 2	50,000,000	運転資金
流 動 資 産 合 計	72,545,563	
2 固定資産		
基本財産		
投資有価証券 3,554,500 株	9,485,183,250	共有財産であり
ヤマトホールディングス株式会社 (株式)		うち 80%を公益保有財産として運用
株数 取得価額		益を公益目的事業に使用し、20%を
3,200,000 株 5,568,000,000 円	8,539,200,000	管理業務のための財産として運用益を
354,500 株 776,195,475 円	945,983,250	法人会計に使用している。
固 定 資 産 合 計	9,485,183,250	
資 産 合 計	9,557,728,813	
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	1,613,702	3 月経費等未払分
預り金	34,110	謝礼金に対する源泉所得税
流 動 負 債 合 計	1,647,812	
負 債 合 計	1,647,812	
正 味 財 産	9,556,081,001	

附 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記に記載している。
2. 引当金の明細 該当なし

以 上

平成 30 年 5 月
公益財団法人ヤマト福祉財団

平成 29 年度事業報告 附属明細書

平成 29 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

以 上

平成 30 年 5 月
公益財団法人ヤマト福祉財団

収 支 決 算 書

(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 3 1 日)

(単位：円)

科 目	予算額			決算額	差額
	事業費会計	法人会計	総合計		
I 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
(1) 基本財産運用収入	85,930,000	10,620,000	96,550,000	96,549,300	700
①基本財産株式配当	85,930,000	10,620,000	96,550,000	96,549,300	700
(2) 寄付金収入	49,840,000	6,160,000	56,000,000	62,956,840	-6,956,840
①運用財産	49,840,000	6,160,000	56,000,000	62,956,840	-6,956,840
②基本財産指定・(繰入増加)	0	—	0	0	0
(3) 賛助会費収入	94,340,000	11,660,000	106,000,000	99,541,500	6,458,500
(4) 雑収入	0	0	0	50,858	-50,858
事業活動収入計	230,110,000	28,440,000	258,550,000	259,098,498	-548,498
2. 事業活動支出					
事業費支出	230,300,000	—	230,300,000	218,735,517	11,564,483
(公 1) 助成事業	97,000,000	—	97,000,000	90,409,539	6,590,461
①奨学金支給	24,000,000	—	24,000,000	24,000,000	0
②助成金	70,000,000	—	70,000,000	61,931,808	8,068,192
i 福祉助成金	5,000,000	—	5,000,000	4,490,000	510,000
ii 給料増額支援助成金	65,000,000	—	65,000,000	57,441,808	7,558,192
③諸経費	3,000,000	—	3,000,000	4,477,731	-1,477,731
(公 2) 研修・育成事業	61,600,000	—	61,600,000	57,869,213	3,730,787
①セミナー事業	22,000,000	—	22,000,000	23,958,297	-1,958,297
i 会場費	4,000,000	—	4,000,000	5,548,574	-1,548,574
ii 運営費	8,500,000	—	8,500,000	8,321,027	178,973
iii ビデオ作成費	3,500,000	—	3,500,000	2,639,952	860,048
iv 諸経費	6,000,000	—	6,000,000	7,448,744	-1,448,744
②雇用促進事業	7,100,000	—	7,100,000	7,756,080	-656,080
i システム費	600,000	—	600,000	558,360	41,640
ii 就労支援費	4,500,000	—	4,500,000	4,480,000	20,000
iii 諸経費	2,000,000	—	2,000,000	2,717,720	-717,720
③育成プロジェクト	32,500,000	—	32,500,000	26,154,836	6,345,164
i 会場費	3,000,000	—	3,000,000	1,423,888	1,576,112
ii 講師諸費	3,000,000	—	3,000,000	1,374,163	1,625,837
iii 事業改革モデル化資金	5,000,000	—	5,000,000	2,248,000	2,752,000
iv 管理会計ソフト運用費	3,000,000	—	3,000,000	3,418,390	-418,390
v 諸経費	6,500,000	—	6,500,000	8,994,319	-2,494,319
vi 水稲自然栽培検証プロジェクト	10,000,000	—	10,000,000	8,696,076	1,303,924
vii 水稲自然栽培ビデオ制作費等	2,000,000	—	2,000,000	0	2,000,000
(公 3) 表彰事業	9,000,000	—	9,000,000	9,836,688	-836,688
①贈呈費	3,000,000	—	3,000,000	3,000,000	0
②会場費	2,000,000	—	2,000,000	1,899,360	100,640
③経費	4,000,000	—	4,000,000	4,937,328	-937,328

科 目	予算額			決算額	差額
	事業費会計	法人会計	総合計		
(公4) 広報・啓発等事業	57,700,000	—	57,700,000	55,250,598	2,449,402
① 広報事業	44,000,000	—	44,000,000	42,032,606	1,967,394
i ホームページ運営費	2,000,000	—	2,000,000	939,600	1,060,400
ii 委託費	13,000,000	—	13,000,000	9,494,930	3,505,070
iii 諸経費	29,000,000	—	29,000,000	31,598,076	-2,598,076
② 啓発事業	700,000	—	700,000	696,418	3,582
i 会場費	400,000	—	400,000	224,840	175,160
ii 運営費	100,000	—	100,000	82,292	17,708
iii 諸経費	200,000	—	200,000	389,286	-189,286
③ その他事業	13,000,000	—	13,000,000	12,521,574	478,426
i 全Aネット調査費用	1,400,000	—	1,400,000	881,989	518,011
ii J D F ほか	1,000,000	—	1,000,000	1,300,000	-300,000
iii きょうされんアーカイブ	3,000,000	—	3,000,000	3,000,000	0
iv ネパール小児白内障治療 P J	3,000,000	—	3,000,000	3,588,531	-588,531
v パラリンピック関連	1,000,000	—	1,000,000	3,751,054	-2,751,054
vi その他	3,600,000	—	3,600,000	0	3,600,000
(公5) 復興・再生支援事業	0	—	0	0	0
① 震災支援費	0	—	0	0	0
② 諸経費	0	—	0	0	0
共通	5,000,000	—	5,000,000	5,369,479	-369,479
① 諸経費	5,000,000	—	5,000,000	5,369,479	-369,479
管理費支出	—	28,250,000	28,250,000	27,509,817	740,183
① 人件費	—	2,200,000	2,200,000	2,614,468	-414,468
② 福利厚生費	—	250,000	250,000	261,856	-11,856
③ 旅費	—	1,300,000	1,300,000	1,073,808	226,192
④ 通信運搬費	—	1,800,000	1,800,000	1,720,496	79,504
⑤ 備品消耗品費	—	350,000	350,000	237,536	112,464
⑥ 図書印刷費	—	4,000,000	4,000,000	3,024,687	975,313
⑦ 事務室維持費	—	1,200,000	1,200,000	1,195,607	4,393
⑧ 事務機器賃借料	—	400,000	400,000	526,822	-126,822
⑨ 会議費	—	850,000	850,000	966,421	-116,421
⑩ 賦課金	—	200,000	200,000	230,000	-30,000
⑪ 支払手数料	—	100,000	100,000	127,821	-27,821
⑫ 支払利息	—	100,000	100,000	76,482	23,518
⑬ 雑費	—	500,000	500,000	453,813	46,187
⑭ 予備費	—	15,000,000	15,000,000	15,000,000	0
事業活動支出計	230,300,000	28,250,000	258,550,000	246,245,334	12,304,666
I 事業活動収支の部	-190,000	190,000	0	12,853,164	-12,853,164
II 投資活動収支の部	0	0	0	0	0
III 財務活動収支の部	0	0	0	-20,000,000	20,000,000
IV 予備費支出	0	0	0	0	0
当期収支差額	-190,000	190,000	0	-7,146,836	7,146,836

勘 定 明 細 表

平成 30 年 3 月 31 日現在

Ⅰ 資産の部

1 流動資産

(単位：円)

科目	平成 30 年 3 月	平成 29 年 3 月	差 額	備考
現金	398,100	86,120	311,980	手持現金
計	398,100	86,120	311,980	

科目	平成 30 年 3 月	平成 29 年 3 月	差 額	備考
普通預金	22,147,463	13,220,886	8,926,577	みずほ銀行銀座中央支店 1
	50,000,000	0	50,000,000	みずほ銀行銀座中央支店 2
計	72,147,463	13,220,886	58,926,577	

2 固定資産

基本財産

科目	平成 30 年 3 月	平成 29 年 3 月	差 額	備考
投資有価証券（指定）	8,539,200,000	7,464,000,000	1,075,200,000	Y H D 株式 320万株
投資有価証券（一般）	945,983,250	875,154,000	70,829,250	Y H D 株式 354,500株
	—	1,632,750	-1,632,750	Y H D 株式 一株
小計	945,983,250	876,786,750	69,196,500	
合計	9,485,183,250	8,340,786,750	1,144,396,500	Y H D 株式 3,554,500株

II 負債の部

1 流動負債

科 目	平成 30 年 3 月	平成 29 年 3 月	差 額	相手先
未 払 金	343,780	0	343,780	A N Aセールス(株)
	319,622	0	319,622	(社福) ヤマト自立センター
	308,055	312,795	-4,740	ヤマトシステム開発(株)
	173,472	14,295	159,177	(株)クレディセゾン
	108,000	0	108,000	(株)プランニングハウスH A R A
	96,346	94,070	2,276	ヤマトホールディングス(株)
	86,400	0	86,400	松塚しのぶ
	60,480	0	60,480	ヤマト Web ソリューションズ(株)
	50,760	50,760	0	シナジーマーケティング(株)
	15,046	13,827	1,219	リコー販売(株)
	10,191	0	10,191	K D D I (株)
	9,720	0	9,720	日比谷花壇
	9,656	2,498	7,158	(株)スワン
	7,583	10,851	-3,268	ヤマト運輸(株)
	5,616	0	5,616	N T T 東日本(株)
	3,815	5,596	-1,781	(株)イーエスシー
	3,000	4,500	-1,500	(社福) 東京コロニー
	2,160	2,160	0	ヤマトロジスティクス(株)
	0	5,000,000	-5,000,000	MotherKitchen
計	1,613,702	5,511,352	-3,897,650	

科 目	平成 30 年 3 月	平成 29 年 3 月	差 額	備考
預 り 金	34,110	41,067	-6,957	源泉所得税
計	34,110	41,067	-6,957	

科 目	平成 30 年 3 月	平成 29 年 3 月	差 額	備考
短 期 借 入 金	0	15,000,000	-15,000,000	みずほ銀行銀座中央支店
計	0	15,000,000	-15,000,000	

III 正味財産の部

1 指定正味財産

科 目	平成 30 年 3 月	平成 29 年 3 月	差 額	備考
投資有価証券(指定)	8,539,200,000	7,464,000,000	1,075,200,000	ヤマトホールディングス株式
計	8,539,200,000	7,464,000,000	1,075,200,000	

2 一般正味財産

科 目	平成 30 年 3 月	平成 29 年 3 月	差 額	備考
投資有価証券(一般)	945,781,350	876,786,750	68,994,600	ヤマトホールディングス株式
流 動 資 産	72,147,463	13,307,006	58,840,457	現金預金ほか
流 動 負 債	1,647,812	20,552,419	-18,904,607	未払金ほか
計	1,016,281,001	869,541,337	146,739,664	

監 査 報 告 書

公益財団法人 ヤマト福祉財団
理事長 瀬戸 薫 殿

平成30年5月21日

監事 新里 智弘 
監事 神保 清一 

私たち監事は、平成29年4月1日から平成30年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

理事、職員と意思の疎通を図り、情報の収集に努めるとともに、理事会その他の重要な会議に出席し、理事及び職員からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその付属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 計算書類及びその付属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその付属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上

- 3. 財団主催の諸会議**
- 4. 平成 29 年度寄付金寄贈者名簿
賛助会員数一覧**
- 5. 役員名簿**

財団主催の諸会議

会 議 名	開 催 日	議 題
<u>理事会</u> 第 1 回理事会	H29. 6. 1	(1) 代表理事及び常務理事業務執行報告 (1) 定款一部変更の件 (2) 基本財産一部変更の件 (3) 平成 28 年度事業報告承認の件 (4) 平成 28 年度収支決算書類承認の件 (5) 任期満了による理事・監事選任のための評議員会上提案承認の件
第 2 回理事会	H29. 6.22	(1) 代表理事及び常務理事選定の件 (2) 小倉昌男賞及び福祉助成金選考委員会の委員選任の件
第 3 回理事会	H29.11.27	(1) 代表理事及び常務理事業務執行報告 (2) 平成 29 年度 6 月以降事業報告 (3) 第 18 回小倉昌男賞受賞者決定について (4) 平成 29 年度奨学生決定並びに平成 30 年度助成金募集について (5) ネパール小児白内障治療プロジェクトについて
第 4 回理事会	H30. 3.27	(1) 代表理事及び常務理事業務執行報告 (2) 平成 29 年度 11 月以降事業報告 (3) ネパール小児白内障治療プロジェクト現地視察並びに実施合意文書調印について (4) 平成 30 年度助成金選考の件 (5) 基本財産の一部組替え（株式売却）完了の件 (1) 平成 30 年度事業計画承認の件 (2) 平成 30 年度収支計画承認の件
<u>評議員会</u> 第 1 回評議員会	H29. 6.22	(1) 代表理事及び常務理事業務執行報告 (2) 平成 29 年度助成金選考委員会結果報告の件 (3) ネパール小児白内障治療プロジェクトについて (4) 平成 28 年度事業報告の件 (1) 定款一部変更承認の件 (2) 基本財産一部変更の件 (3) 平成 28 年度収支決算書類承認の件 (4) 任期満了による理事・監事選任の件
<u>福祉助成金 選考委員会</u>	H29. 6.15	平成 29 年度障がいのある大学生への奨学金選考の件
<u>第 18 回小倉昌男賞 選考委員会</u>	H29.10.11	第 18 回ヤマト福祉財団小倉昌男賞の選考について
<u>福祉助成金 選考委員会</u>	H30. 3.12	平成 30 年度福祉助成金の選考について

寄付金寄贈者名簿

(敬称略：順不同)

寄付者名	寄付者名	寄付者名
町 田 武	鈴 木 一 義	片 山 康 雄
藤 崎 竜 次	広 島 ケ ナ フ の 会	(社 福) す ず ら ん の 会
(株) ポ ピ ン ズ	(株)プランニングハウスHARA	ヤマトホールディングス(株)

夏季カンパ

寄 付 者 名
ヤマトグループ企業労働組合連合会

賛助会員数一覧

平成 30 年 3 月 31 日現在

会社名	会員数	会社名	会員数
ヤマトホールディングス(株)	169	ヤマトフィナンシャル(株)	311
ヤマト運輸(株)	59,362	ヤマトクレジットファイナンス(株)	89
沖縄ヤマト運輸(株)	240	ヤマトリース(株)	87
ヤマトグローバルエクスプレス(株)	985	ヤマトオートワークス(株)	1,476
エクスプレスネットワーク(株)	10	ヤマトオートワークス岩手(株)	24
ヤマトダイアログ&メディア(株)	13	ヤマトオートワークス北信越(株)	11
ヤマトコンタクトサービス(株)	254	ヤマトオートワークス沖縄(株)	1
ヤマト・スタッフ・サプライ(株)	770	ボックスチャーター(株)	19
ヤマトロジスティクス(株)	801	ヤマトボックスチャーター(株)	1,129
ヤマトグローバルロジスティクスジャパン(株)	348	ヤマトマネージメントサービス(株)	148
ヤマトマルチメンテナンスソリューションズ(株)	224	ヤマトマルチチャーター(株)	383
ヤマトパッキングサービス(株)	134	神戸ヤマト運輸(株)	46
ヤマト包装技術研究所(株)	32	(株)スワン	12
湖南工業(株)	310	ヤマトグループ健康保険組合	23
ヤマトホームコンビニエンス(株)	1,418	社会福祉法人ヤマト自立センター	13
ヤマトシステム開発(株)	1,916	ヤマト運輸労働組合	43
ヤマトWebソリューションズ(株)	12	合 計	70,813

役員名簿

理事

平成 30 年 3 月 31 日現在

NO	役職名	氏 名	役 職
1	理事長	瀬戸 薫	ヤマトホールディングス株式会社 相談役
2	理事	渡辺 修	元環境事務次官
3	同	町田 武	元三郷市教育委員会 教育委員長
4	同	池田 輝彦	みずほ信託銀行株式会社 顧問
5	同	藤掛 稔子	
6	同	森下 明利	ヤマト運輸労働組合 中央執行委員長
7	同	日浦美智江	社会福祉法人訪問の家 顧問
8	同	柴崎 憲二	元ヤマト運輸株式会社 監査役
9	同	早川 雅人	ヤマト福祉財団常務理事

監事

NO	役職名	氏 名	役 職
1	監事	神保 清一	元ヤマト運輸株式会社 代表取締役専務執行役員
2	同	新里 智弘	公認会計士

評議員

NO	役職名	氏 名	役 職
1	評議員	嘩道 永一	鎌倉市建築等紛争調停委員
2	同	今野 由梨	ダイヤル・サービス株式会社 代表取締役社長
3	同	藤井 克徳	きょうされん 専務理事
4	同	遠藤 英男	元ヤマト運輸株式会社 監査役
5	同	内田 五郎	元ヤマトシステム開発株式会社 代表取締役社長
6	同	吉井 毅	元新日本製鉄（現新日本住金）株式会社 代表取締役副社長
7	同	上杉 郷一	ヤマト運輸労働組合 副中央執行委員長
8	同	川田 博	元ヤマトホールディングス株式会社 監査役

福祉助成金選考委員

平成 30 年 4 月 1 日現在

NO	役職名	氏 名	役 職
1	選考委員	朝日 雅也	埼玉県立大学 保健医療福祉学部 社会福祉学科 教授
2	同	上杉 郷一	ヤマト運輸労働組合 副中央執行委員長
3	同	柴崎 憲二	元ヤマト運輸株式会社 監査役
4	同	大谷 友樹	ヤマトホールディングス株式会社 常務執行役員
5	同	瀬戸 薫	ヤマトホールディングス株式会社 相談役

ヤマト福祉財団小倉昌男賞選考委員

平成 30 年 3 月 31 日現在

NO	役職名	氏 名	役 職
1	選考委員	藤井 克徳	きょうされん 専務理事
2	同	渡辺 修	元環境事務次官
3	同	今野 由梨	ダイヤル・サービス株式会社 代表取締役社長
4	同	森下 明利	ヤマト運輸労働組合 中央執行委員長
5	同	瀬戸 薫	ヤマトホールディングス株式会社 相談役

6. 平成 30 年度事業計画書

同 収支予算書

資金調達及び設備投資の見込みについて

平成30年度 事業計画書

(自・平成30年4月1日～至・平成31年3月31日)

はじめに

「障がい者の働く場パワーアップフォーラム」、「夢へのかけ橋実践塾」、「自然栽培パーティ」など、ヤマト福祉財団小倉昌男賞受賞者の協力を得て、障がい者の働く場を幅広く応援するしくみにより、障がい者の工賃向上の成果のあった事業所が徐々に増えています。今年度は、パワーアップフォーラムの開催、実践塾の実施、給料増額助成金の贈呈により、前年に引き続き多くの人たちが行動を起すよう推進していきます。また、奨学金など重度障がい者に対する助成活動を引き続き行い、社会参加につながるようにいたします。ヤマト福祉財団小倉昌男賞受賞者によるネパールでの小児眼科医療について前年度の現地N G Oとの合意に基づいて現地にてスクリーニング検査を実施します。

(公1) 助成事業 (107,000千円)

(1) 奨学金 (24,000千円)

40名の障がいのある大学生に対して奨学金を給付します。

(2) 助成金 (80,000千円)

・給料増額支援助成金

障がい者の給料増額につながる設備・備品購入費として、障がい者施設を対象に助成します。

(70,000千円)

・障がい者福祉助成金

障がい者の福祉に資する活動（講演会・研修・文化・スポーツ等）について、障がい者団体を対象に助成します。

(10,000千円)

(3) 諸経費（調査費・贈呈式他費用） (3,000千円)

(公2) 研修・育成事業 (53,000千円)

(1) セミナー事業 (23,000千円)

「障がい者の働く場パワーアップフォーラム」を福岡、東京、札幌、大阪の4カ所で開催します。本年度は、会場ごとのサブテーマを「共に働き共に生きる障がい者の働く場」（福岡）・「生き方・暮らし方の向上を目指して」（東京）・「就労継続支援A型事業所の未来」（札幌）・「食で広がる障がい者の仕事づくり」（大阪）とし、開催地の状況に沿った構成とします。

(2) 雇用促進事業 (7,000千円)

DM便配達施設の事例報告やヤマト自立センターの支援など、障がい者就労の拡大を図ります。

(3) 育成プロジェクト (23,000千円)

より高い工賃を達成することに特に強い意欲のある施設職員を集め、ヤマト福祉財団小倉昌男賞受賞者による実践塾を開講します。また、修了した塾生に対するフォローアップ研修を行い、工賃向上に対する意欲の持続を促します。また、先行的・先駆的な取り組みを支援しモデル化するための資金を塾参加施設の申請に応じて提供します。また、休耕田・耕作放棄地を利用した無農薬・無肥料による自然栽培を推進する「自然栽培パーティ」の活動を支援します。

会場費	(3,000千円)
講師費用	(1,000千円)
事業改革モデル化資金	(3,000千円)
管理会計システム運用・改善費	(3,000千円)
諸経費（交通費等）	(3,000千円)
「自然栽培パーティ」プロジェクト	(10,000千円)

(公3) 表彰事業 (9,000千円)

(1) ヤマト福祉財団小倉昌男賞の贈呈 (9,000千円)

障がい者就労施設や一般企業等において、障がい者の就労支援、職業指導、処遇改善などの面で功労著しく、広く敬愛の的となっている個人を対象に本年も「ヤマト福祉財団小倉昌男賞」を贈呈します。

(公4) 広報・啓発等事業 (57,300千円)

(1) 広報事業 (44,000千円)

財団ニュースを年4回発行し、ヤマトグループ賛助会員の家庭に直接送付することで活動の浸透を図ります。また、インターネット等を通じて広く一般に啓発広報を行います。

(2) 啓発事業 (700千円)

障がい者本人によるクロネコDM便配達報告会の開催や障がい者団体の主催する大会の共催・後援等によって、障がい者の能力の浸透啓発を図ります。

(3) その他事業 (12,600千円)

・全Aネットによる好事例集・良質なA型事業所認定事業 (2,600千円)

雇用契約を結ぶ障がい者の働く場として始まったA型事業所は、新規参入の増加により3千カ所を越えました。前年度の事業で、全国の就労継続A型事業所を対象とした実態調査を実施し実情を明らかにしました。この結果をもとにA型事業所の健全な発展のため、全Aネットが行う好事例集の作成や良質なA型事業所認定制度事業の立ち上げを支援します。

・日本障害フォーラムによる「障害者の権利条約」に関する事業 (1,000千円)

「障害者の権利条約」について国連障害者権利委員会に提出するNGOパラレルレポートの準備活動と国内啓発活動に対し公益財団法人助成財団センターを窓口として、他の福祉系財団とともに共同助成を行いサポートします。

・ネパール小児白内障眼科医療に対する協力事業 (3,000千円)

第17回ヤマト福祉財団小倉昌男賞を受賞した竹内昌彦氏が立ち上げた基金と共同で立ち上げたネパールで貧困のため治療を諦めている小児白内障患者の医療事業について、現地事前調査ならびにカウンターパートの協定、現地医療スキームの策定が終わりました。本年度は、現地の小学校2校において眼科検診による要治療者スクリーニングを実施します。

・パラリンピック開催への協力 (3,000千円)

パラリンピックの準備期間として選手に障がい者が生産した農産物を食材として提供し、地方の障がい者もパラリンピックに協力できるようにします。

・その他（予備費） (3,000千円)

以上

平成 30 年度収支予算書

(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

(単位：千円)

科 目	事業費会計	法人会計	総合計	前年計画
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
(1) 基本財産運用収入	76,800	19,200	96,000	96,550
①基本財産株式配当	76,800	19,200	96,000	96,550
(2) 寄付金収入	44,800	11,200	56,000	56,000
①運用財産	44,800	11,200	56,000	56,000
②基本財産指定・(繰入増加)	0	0	0	0
(3) 賛助会費収入	72,960	18,240	91,200	106,000
(4) 雑収入	0	0	0	0
①受取利息	0	0	0	0
②雑収入	0	0	0	0
事業活動収入計	194,560	48,640	243,200	258,550
2. 事業活動支出				
事業費支出	231,300	—	231,300	230,300
(公 1) 助成事業	107,000	—	107,000	97,000
①奨学金支給	24,000	—	24,000	24,000
②助成金	80,000	—	80,000	70,000
i 福祉助成金	10,000	—	10,000	5,000
ii 給料増額支援助成金	70,000	—	70,000	65,000
③諸経費	3,000	—	3,000	3,000
(公 2) 研修・育成事業	53,000	—	53,000	61,600
①セミナー事業	23,000	—	23,000	22,000
i 会場費	5,000	—	5,000	4,000
ii 運営費	8,500	—	8,500	8,500
iii ビデオ作成費	2,500	—	2,500	3,500
iv 諸経費	7,000	—	7,000	6,000
②雇用促進事業	7,000	—	7,000	7,100
i システム費	500	—	500	600
ii 就労支援費	4,500	—	4,500	4,500
iii 諸経費	2,000	—	2,000	2,000
③育成プロジェクト	23,000	—	23,000	32,500
i 会場費	3,000	—	3,000	3,000
ii 講師諸費	1,000	—	1,000	3,000
iii 事業改革モデル化資金	3,000	—	3,000	5,000
iv 管理会計ソフト運用・改善費	3,000	—	3,000	3,000
v 諸経費	3,000	—	3,000	6,500
vi 自然栽培パーティプロジェクト	10,000	—	10,000	10,000
vii 水稻自然栽培ビデオ制作費等	0	—	0	2,000
(公 3) 表彰事業	9,000	—	9,000	9,000
①贈呈費	3,000	—	3,000	3,000
②会場費	2,000	—	2,000	2,000
③経費	4,000	—	4,000	4,000

(単位：千円)

科 目	事業費会計	法人会計	総合計	前年計画
(公4) 広報・啓発等事業	57,300	—	57,300	57,700
① 広報事業	44,000	—	44,000	44,000
i ホームページ運営費	2,000	—	2,000	2,000
ii 委託費	10,000	—	10,000	13,000
iii 諸経費	32,000	—	32,000	29,000
② 啓発事業	700	—	700	700
i 会場費	400	—	400	400
ii 運営費	100	—	100	100
iii 共催・講演費	0	—	0	0
iv 経費	200	—	200	200
③ その他事業	12,600	—	12,600	13,000
i きょうされんアーカイブ	0	—	0	3,000
ii 全Aネット調査費等	2,600	—	2,600	1,400
iii パラリンピック関連	3,000	—	3,000	1,000
iv JDFほか	1,000	—	1,000	1,000
v ネパール小児白内障治療PJ	3,000	—	3,000	3,000
vi その他	3,000	—	3,000	3,600
(公5) 復興・再生支援事業	0	—	0	0
① 震災支援費	0	—	0	0
② 諸経費	0	—	0	0
共通	5,000	—	5,000	5,000
① 諸経費	5,000	—	5,000	5,000
管理費支出	—	11,900	11,900	28,250
① 人件費	—	2,000	2,000	2,200
② 福利厚生費	—	250	250	250
③ 旅費	—	1,300	1,300	1,300
④ 通信運搬費	—	1,500	1,500	1,800
⑤ 備品消耗品費	—	300	300	350
⑥ 図書印刷費	—	3,500	3,500	4,000
⑦ 事務室維持費	—	1,000	1,000	1,200
⑧ 事務機器賃借料	—	400	400	400
⑨ 会議費	—	900	900	850
⑩ 賦課金	—	200	200	200
⑪ 支払手数料	—	100	100	100
⑫ 支払利息	—	0	0	100
⑬ 雑費	—	450	450	500
⑭ 予備費	—	0	0	15,000
事業活動支出計	231,300	11,900	243,200	258,550
I 事業活動収支の部	-36,740	36,740	0	0
II 投資活動収支の部	0	0	0	0
III 財務活動収支の部	0	0	0	0
IV 予備費支出	0	0	0	0
当期収支差額	-36,740	36,740	0	0

※やむを得ぬ場合は、理事長は科目間の流用を行うことができる。

資金調達及び設備投資の見込みについて

(平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで)

(1) 資金調達の見込みについて

当期中における借入れの予定はありません。

(2) 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資（除却又は売却を含む。）の予定はありません。

以上